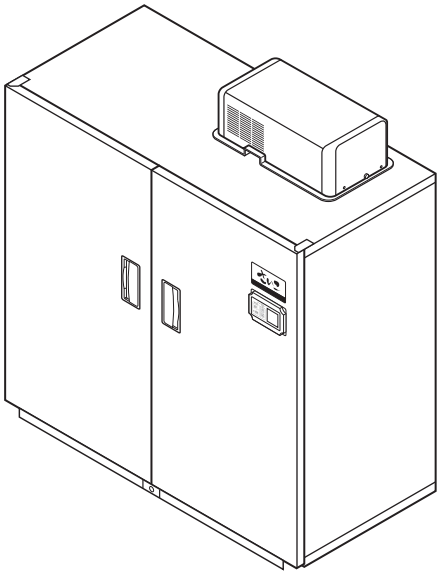
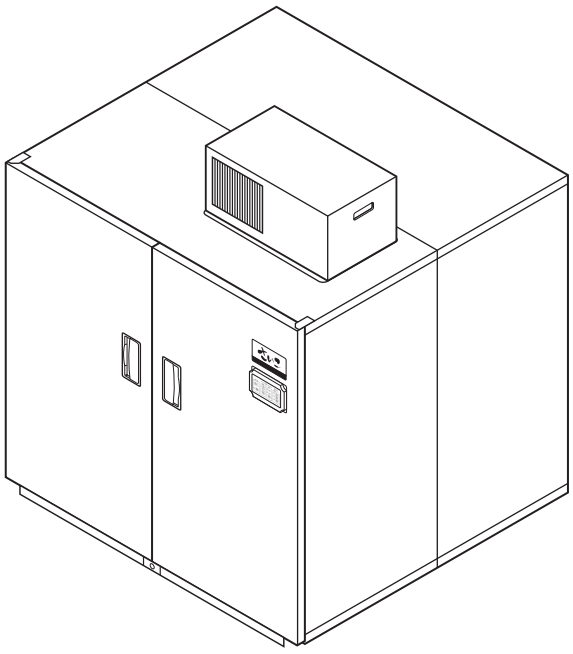
農産物・玄米低温貯蔵庫

さいき

GB3001Y　GB3001G
GB3003Y　GB3003G
GB6001Y　GB6001G
GB6003Y　GB6003G

取扱説明書





●この取扱説明書をよくお読みの上、機械の取扱いをしてください。
●この取扱説明書は、必要なときにいつでも調べられるように、大切に保管してください。

目　次

目次 …… 表紙
ご使用の前に …… 1
機械の型式名のご確認 …… 1
1.まえがき …… 1
2.安全について
2.1 警告用語の種類と意味 …… 2
2.2 安全に作業を行うための注意事項 …… 2
2.3 警告表示ラベルについて …… 3
3.機械の仕様、構成、使用範囲
3.1 機械の仕様 …… 3
3.1.1 主要諸元 …… 3
3.1.2 機械の据付寸法図 …… 4
3.2 機械の構成 …… 5
3.3 機械の使用範囲 …… 6
4.機械の使用
4.1 使用上の注意事項 …… 6
4.2 使用方法 …… 7
4.2.1 電源の接続について …… 7
4.2.2 庫内冷却について …… 7
4.2.3 庫内温度・庫内湿度の設定と表示について …… 8
4.2.4 霜取りについて …… 9
4.2.5 チェックコード表示とエラーコード表示 …… 9
4.2.6 排水について …… 10
4.2.7 貯蔵品の入れ方について …… 10
4.2.8 玄米の貯蔵について …… 10
4.2.9 結露について …… 11
4.2.10 ドアの密閉について …… 11
4.2.11 カギについて …… 12
4.2.12 可倒式中仕切について …… 12
5.点検と掃除と廃棄
5.1 点検箇所と方法 …… 12
5.1.1 庫内温度の点検 …… 12
5.1.2 吸込口の点検 …… 12
5.1.3 設置場所室温の点検 …… 12
5.1.4 排水の点検 …… 13
5.1.5 長期間使用しないとき …… 13
5.2 掃除箇所と方法 …… 13
5.2.1 吸込口の掃除 …… 13
5.2.2 ドアや庫内の掃除 …… 13
5.3 貯蔵庫の廃棄について …… 13
6.組立要領
6.1 組立の前に …… 14
6.2 組立の手順 …… 14
6.2.1 設置スペース …… 14
6.2.2 組立・設置に必要な工具類 …… 14
6.2.3 梱包部品の確認 …… 15
6.2.4 組立手順 …… 17
6.3 組立後の確認 …… 24
7.困ったときには …… 25
8.連絡先 …… 26
保証書 …… 裏表紙

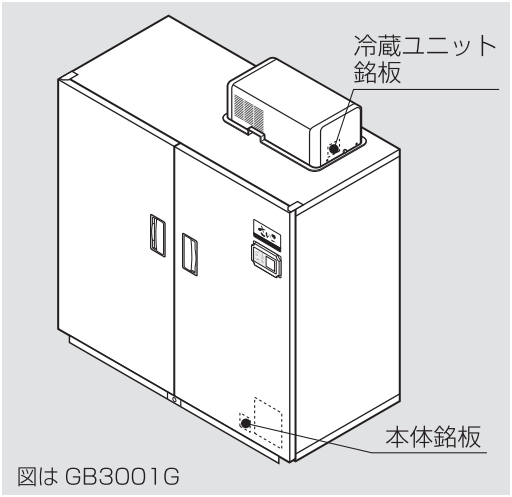
静岡製機株式会社

ご使用の前に

1.この機械を使用する前に、この取扱説明書をまっ先に十分お読みください。
その上で、取扱説明書に従って運転操作、保守・点検を行ってください。
2.この取扱説明書に記載してある注意事項や機械に表示してある注意事項は、発生しうる全ての危険を予測、想定できているわけではありません。
従って機械の運転、保守・点検および組立を行う場合は、取扱説明書の記載および機械に表示してある事項に限らず、安全対策には十分配慮してください。
3.この取扱説明書についてご不明な点がございましたら、購入先または弊社の営業所か、本社営業部（ ⑧ 連絡先参照）にお問い合わせください。
4.この取扱説明書が必要なときにいつでも調べられるように、大切に保管してください。紛失した場合は、購入先へ注文してください。
5.この機械の組立にあたっては、この取扱説明書の（ ⑥ 組立要領）の項をよくお読みいただき、内容を十分に理解された上で、安全に注意して組立してください。

機械の型式名のご確認

機械の型式名と製造番号が銘板に記入されています。ご確認の上、裏表紙の保証書の記入欄に書入れてください。
購入先に点検、修理を依頼したり、部品を注文される時は、この型式名を一緒にご連絡ください。



図は GB3001G

1 まえがき

この章では、取扱説明書の記載内容、機械の使用目的・範囲・構成及び使用電源について説明しています。

1.取扱説明書の記載内容

この取扱説明書には、機械の取扱安全事項、仕様、運転操作、保守・点検、組立要領の説明が記載されています。

2.機械の使用目的・使用範囲

この機械は、**玄米（農産物）保冷庫**として設計されています。**肥料、薬品等及び腐食性の食物（食塩、タマゴ、マヨネーズ、漬け物、大豆、キノコ類、魚介類等）を入れないでください。**※腐食性の物については購入先にお問い合わせください。
Gタイプは、玄米以外の物（野菜や果実）を保冷する目的に使用しないでください。
玄米水分で16%以下に乾燥させたものを紙袋に入れて貯蔵してください。**玄米**を貯蔵する場合は**2年間程度**が限度です。
この機械では予冷はできません。
Yタイプに野菜、果実などを貯蔵する場合は、種類によって貯蔵温度、貯蔵期間が大きく変わりますので注意が必要です。
お近くの指導機関又は、購入先におたずねください。
野菜類で収穫から出荷までの一時貯蔵に使用する場合は3日間が限度です。
農産物の予冷には、冷却能力が不足することがありますので使用しないでください。

重 要 **腐食性の物を入れると冷蔵ユニットが故障する場合があります。**

3.機械の構成

この機械は、本体と冷蔵ユニット、すのこで一式になっています。

4.使用電源

この機械の使用電源は、**単相100V**または**三相200V**です。
単相100Vの時、電源電圧は90～110Vの範囲でご使用になれます。
三相200Vの時、電源電圧は180～220Vの範囲でご使用になれます。

2 安全について

この機械を取扱う前に必ずお読みください。
この章では、警告用語の種類と意味、機械の取扱全般についての注意事項及び警告表示ラベルについて説明しています。

2.1.警告用語の種類と意味

取扱説明書の警告内容、及び機械本体に貼付してある警告ラベルは、危険の度合に従って次の2段階に分けています。
この警告用語の意味を理解していただき、取扱説明書の内容に従って、運転操作、保守・点検、組立を行ってください。

危険等を喚起する表示・標識の種類	喚 起 す る 内 容
⚠ 警 告	**「警告」**の文字の下に書かれている事柄は、その内容を守らないと、**死亡又は重傷事故**につながることがあり、**十分ご注意**いただきたい内容です。
⚠ 注 意	**「注意」**の文字の下に書かれている事柄は、その内容を守らないと、**ケガなどの事故**につながることがあり、**ご注意**いただきたい内容です。

この機械の取扱全般について、特に留意していただきたい事項は、この取扱説明書の中で下記のように書いて、左の警告事項とは区別しています。

重 要 この機械の取扱全般について、特に留意していただきたい事項について示しています。

注 意 一般的な留意事項

⚠ 注 意

●この機械の運転操作、保守・点検は必ずこの取扱説明書に従って行ってください。
●取扱説明書の内容で不明な点がありましたら、購入先または、（8.連絡先）にお問合せ、確認してから作業を始めてください。

2.2.安全に作業を行うための注意事項

安全に作業を行うために次の注意事項を守ってください。

1.作業者の服装と健康

●作業に適した服装と靴で作業してください。
●過労や病気、酒気おびの状態で作業しないでください。
●米袋の積み降ろし時などに、腰をいためないようにしてください。
　また、台の上に乗っての積み降ろし作業などはしないでください。台から落下してケガをすることがあります。
●頭や足などをぶつけないよう、注意して作業をしてください。

2.作業場の整備

●この機械は**屋内設置**用として設計・製作されていますので、屋根のある風通しの良い場所に設置してください。
●設置場所は平らな所で、**ひずみのないしっかりした床面**を選んでください。土間や板の間などの床面が柔らかい場所には設置しないでください。
●直射日光が本体に当たらないようにしてください。
●機械の回りにスペースを確保してください。
●換気の悪い場所に設置しないでください。万一冷媒が漏れると、酸素欠乏の恐れがあります。

3.電源配線とアース

●機械の電源は、感電事故防止のために、**漏電ブレーカがあるコンセントから配線**してください。
●延長コードは電圧降下を防止するために**2mm² 以上の太さで、10m未満の長さ**にしてください。
●他の機械とのたこ足配線は、絶対にしないでください。
●感電事故防止や機械の誤動作防止のため、アース線の接続をしてください。

重 要 **上記の配線になっていない場合は、購入先か電気工事店にご相談ください。**

4.使用中の安全

●カギを掛けてください。子供が庫内に入ってドアを閉めた場合、子供の力では開かないことがあります。
●ドアは取手を持って閉めてください。ドアに指などをはさんでケガをすることがあります。
●本体や冷蔵ユニットの上に乗ったり、物を置いたりしないでください。
転落したり、物が落下して、ケガをすることがあります。また、機械が変形することがあります。
●冷蔵ユニットの前、後にものを置かないでください。冷却がうまくできない場合があります。

5.掃除・点検・整備の時の安全

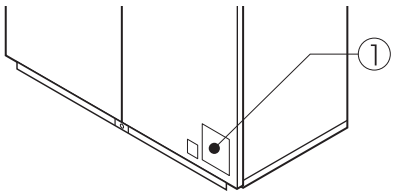
●各部の掃除、点検をする場合は、必ず元電源を切ってから行ってください。
●電源コードは電源プラグを持って抜き差ししてください。また、ぬれた手で抜き差ししないでください。
●修理技術者以外の人は、絶対に分解や修理、改造を行わないでください。感電・火災・ケガ・故障の原因になります。

2.3.警告表示ラベルについて

機械の特に注意を要する取扱について記した警告表示ラベルが貼ってあります。
これらの内容をよく確認し、守って安全作業を行ってください。

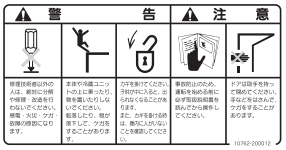
標識	名　　称	貼付位置	品　　番
警告	本体警告・注意ラベル	ドア右下	10762-200012
注意			

●警告表示ラベル貼付位置



●警告表示ラベル内容

①



3 機械の仕様、構成、使用範囲

この章では、機械の主な仕様、構成、使用範囲について説明しています。

3.1.機械の仕様

3.1.1.主要諸元

機械の主な仕様は次の通りです。

名　　称		農産物低温貯蔵庫			
型　　式		GB3001Y	GB3003Y	GB6001Y	GB6003Y
寸法	外寸(奥行×幅×全高mm)	974×2040×2375		1829×2040×2375	
	本体(奥行×幅×全高mm)	974×2040×2025		1829×2040×2025	
	内寸(奥行×幅×全高mm)	855×1920×1810		1710×1920×1810	
有効容積（ℓ）		2806		5613	
貯蔵量	玄米袋(30kg)	54袋		108袋	
	農業用コンテナ（個）	30個		60個	
製品質量(kg)		209	211	300	302
電源電圧・電源周波数		単相100V・50/60Hz	三相200V・50/60Hz	単相100V・50/60Hz	三相200V・50/60Hz
消費電力(W50/60Hz)		430／515	400／460	430／515	400／460
冷媒		HFC-134a			
制御温度（℃）		2～20			
使用周囲温度（℃）		2～35			
使用周囲湿度(%RH)		40～85			
付属品		すのこ・排水ホース（3m）			

※農業用コンテナの目安（奥行370×幅520×全高310mm）　　電源コード長さ：5m

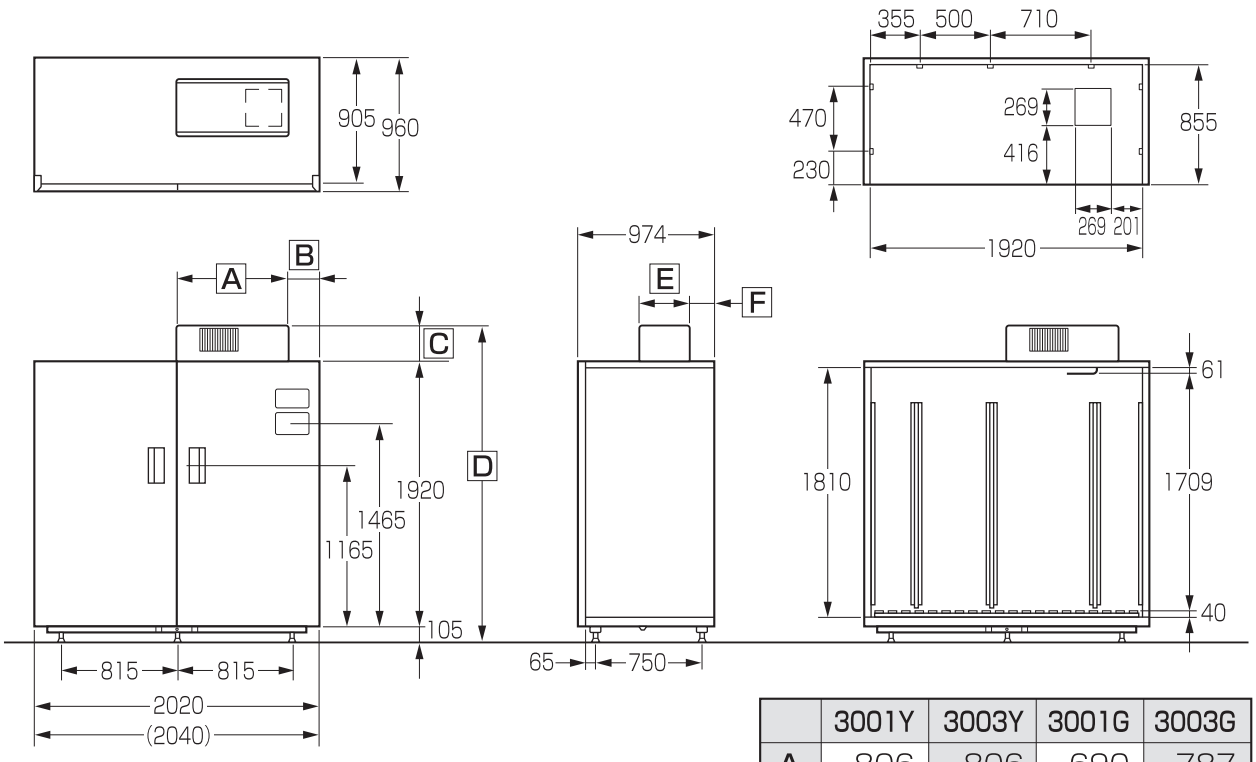
名称		玄米低温貯蔵庫			
型式		GB3001G	GB3003G	GB6001G	GB6003G
寸法	外寸(奥行×幅×全高mm)	974×2040×2265	974×2040×2275	1829×2040×2265	1829×2040×2275
	本体(奥行×幅×全高mm)	974×2040×2025		1829×2040×2025	
	内寸(奥行×幅×全高mm)	855×1920×1810		1710×1920×1810	
有効容積(ℓ)		2806		5613	
貯蔵量(玄米袋)(30kg)		54袋		108袋	
製品質量(kg)		190	202	281	293
電源電圧・電源周波数		単相100V・50/60Hz	三相200V・50/60Hz	単相100V・50/60Hz	三相200V・50/60Hz
消費電力(W50/60Hz)		320／350	400／430	320／350	400／430
冷媒		HFC-134a			
制御温度(℃)		9～20			
使用周囲温度(℃)		9～35			
使用周囲湿度(%RH)		40～85			
付属品		すのこ・排水ホース（1.5m）			

3.1.2.機械の据付寸法図

機械の主な据付寸法は次の通りです。

3001・3003

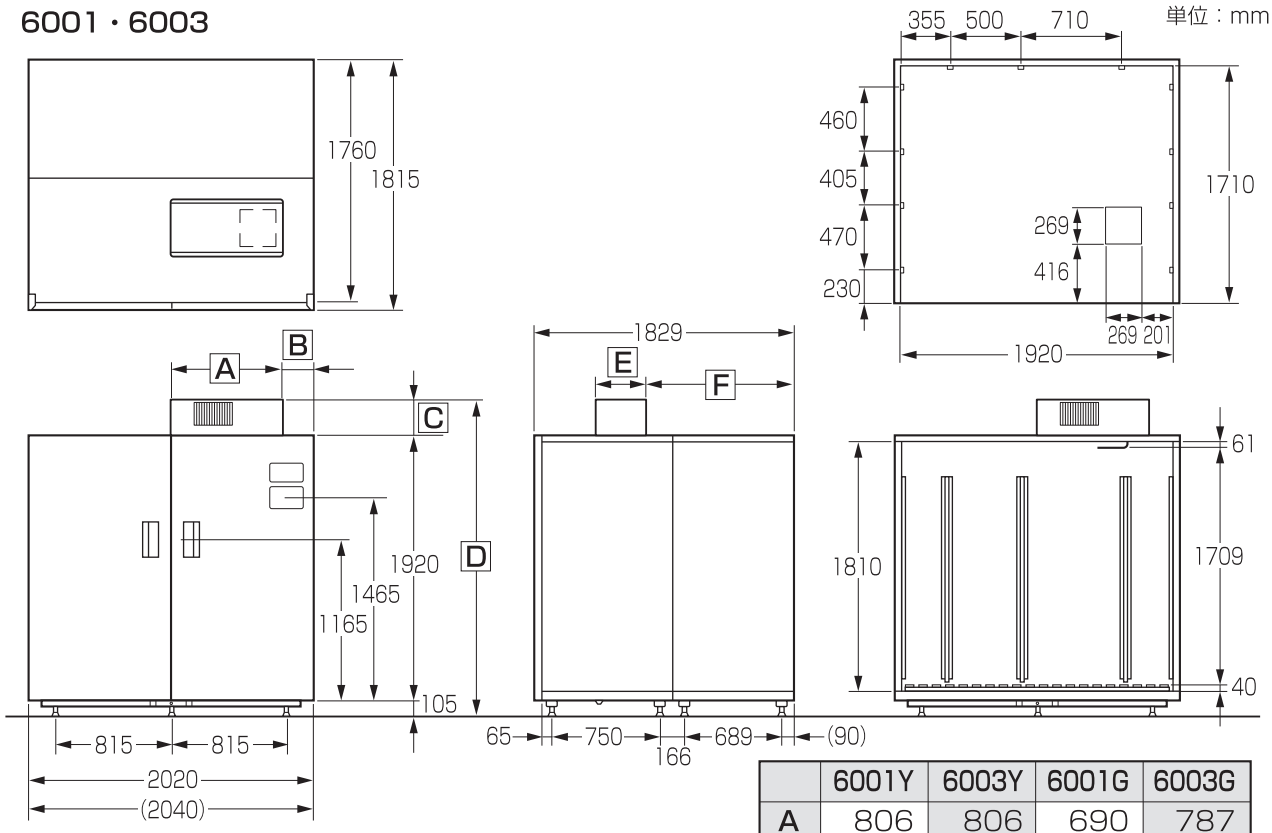
単位：mm



	3001Y	3003Y	3001G	3003G
A	806	806	690	787
B	192	192	156	220
C	350	350	240	250
D	2375	2375	2265	2275
E	510	510	354	357
F	122	122	178	177

6001・6003

単位：mm

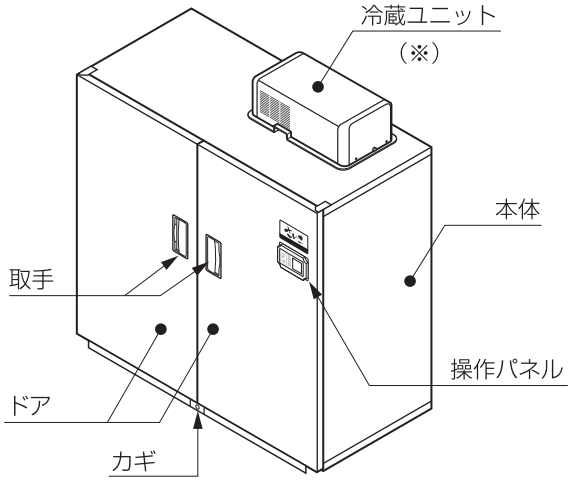


	6001Y	6003Y	6001G	6003G
A	806	806	690	787
B	192	192	156	220
C	350	350	240	250
D	2375	2375	2265	2275
E	510	510	354	178
F	982	982	1033	1031

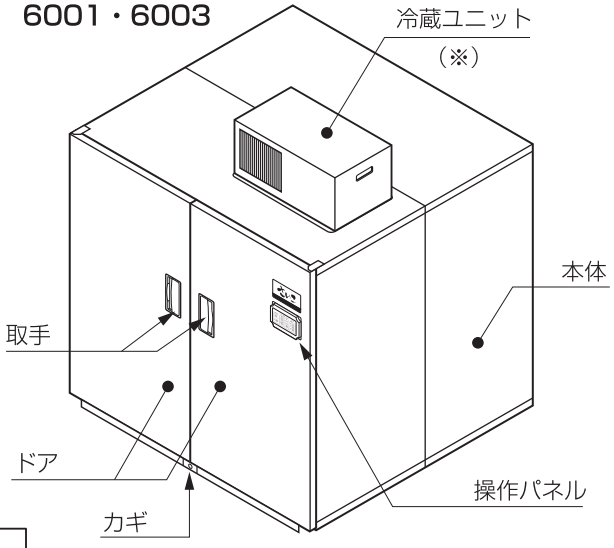
3.2.機械の構成

機械の構成を次に示します。

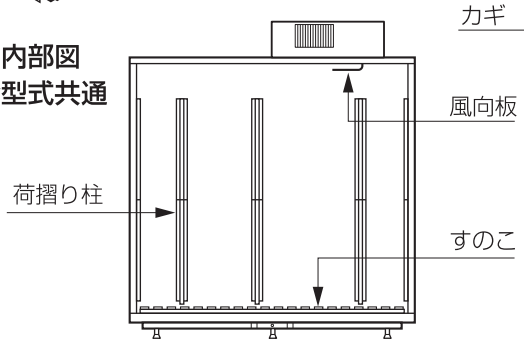
3001・3003



6001・6003



●内部図
全型式共通



※コーナー部分にRが付く冷蔵ユニットの形状は、3001G、6001Gのみです。
他の型式は、Rが付きません。

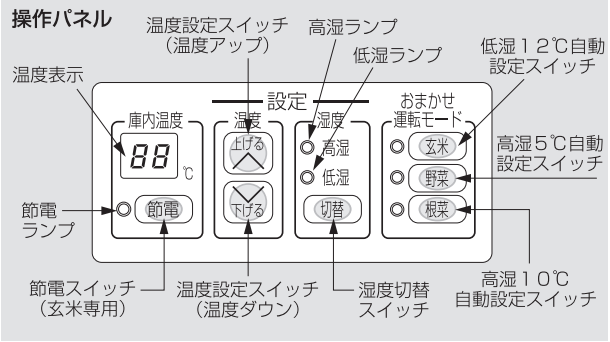
3.3.機械の使用範囲

Yタイプ

●この機械は**玄米、野菜などの保冷庫**として使用できます。
保冷とは、玄米、野菜などの温度が上がらないように低温に維持することをいいます。

●この機械は**予冷用としては使用できません。**
予冷とは、短時間で野菜や果物などの温度を下げることをいいます。
この機械の冷却能力では、希望の時間内で野菜などの温度が下がらないことがあります。簡易的に使用する場合は、あらかじめ試験を行なうなどして能力を確認した上で、ご利用ください。

●野菜や果物を貯蔵するときは、その野菜や果物の貯蔵温度・貯蔵湿度・貯蔵期間をよく確認してから貯蔵してください。

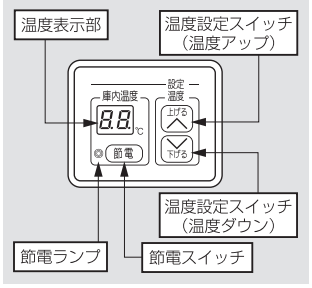


Gタイプ

●この機械は**玄米保冷庫**として使用できます。
保冷とは、玄米の温度が上がらないように低温に維持することをいいます。

●この機械は、野菜類の保冷用としては使用できません。
玄米以外のもの（野菜、いも類や果物など）を保冷する目的に使わないでください。

●この機械の設定温度は**9℃～20℃**です。



共　通

●この機械には**加温機能がありません。**
設定温度以下に外気温度が下がると庫内の温度も外気温度に応じて下がります。
ただし、本体の断熱性により、庫内表示温度と外気温度には、時間的なズレがあり、必ずしも同じ温度を表示するわけではありません。

●設置場所をかえる場合は、内部の貯蔵物を出してから移動してください。

4 機械の使用

この章では、機械の使用上の注意事項と使用方法について説明しています。

4.1.使用上の注意事項

この機械は**屋内用に設計・製造**されていますので、次の注意事項をお守りください。

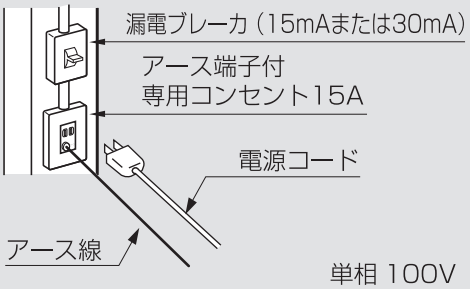
注意事項	注意事項が守れなかった場合の不具合
1.設置	
1.雨や直射日光が当たらない所。	1.ショート・感電したりサビが発生することがあります。また、寿命が短くなったり、庫内の温度が上昇することがあります。
2.風通しが良くて、湿気の少ない所。	2.機械の周囲が湿り、本体外壁に水滴がつくことがあります。
3.床面がしっかりした、平らな所。	3.振動音の発生や、ドアの密閉が悪くなり、冷気が漏れることがあります。貯蔵物の重量で床が変形し、ドアにすきまが出ることがあります。本体の水平がくずれて、庫内に水滴が落ちてくることがあります。
4.本体の回りに保守スペースが取れる所。 ⇨	4.冷蔵ユニットは点検と掃除が必要です。これを怠ると冷蔵ユニットの寿命が短くなります。
5.貯蔵庫の近くには、肥料など金属を腐食させるものを置かないでください。	5.冷蔵ユニットの内部が腐食したり、鋼板が錆びることがあります。
6.ドアには上から力を加えないでください。	6.鍵がかからなくなります。本体とマグネットパッキンの間にすき間ができ庫内が結露したり、冷気が漏れることがあります。
2.貯蔵	
1.米を貯蔵する場合は、水分を16%以下にまで乾燥して、紙袋で貯蔵してください。（長期貯蔵は15%以下が良い。）	1.玄米水分が高すぎるとたとえ低温でもカビが発生したり、玄米が固まったりすることがあります。また、袋に入れずに裸で貯蔵すると乾燥します。
2.籾摺り、精米などを行う場合は、取り出して外気温度と同じにしてから行ってください。	2.籾、または、玄米の表面に水滴がつき、玄米が割れたり、精米後、白米の表面がひび割れすることがあります。
3.熱いものは外気温度と同じにしてから入れてください。	3.熱いものを冷やすのに時間がかかりますし、電気代もかかります。
4.庫内の壁に密着して物を入れないでください。	4.冷気が循環できなくて、冷えない場所ができてしまいます。また壁に密着しているところは湿ります。
5.ドアの開閉回数を少なくしてください。	5.1日に何回もドアを開閉すると、庫内の温度が上がります。庫内温度が上がると、玄米水分が上がったりカビが発生したりすることがあります。ドアの開閉は20秒以内で、1日5回以下にしてください。
6.貯蔵庫には、肥料など金属を腐食させるものを入れないでください。	6.冷蔵ユニット内部が腐食したり、鋼板が錆びることがあります。
7.ドア側にものが倒れてこないように積んでください。ドアは最後までしっかり閉めてください。	7.ドアが少し開いた状態になり、庫内に水滴が落ちてきたり、天パネルに水滴がたまることがあります。
3.掃除	
1.冷蔵ユニットの吸込口は定期的に掃除をしてきれいにしてください。 ⇨	1.ホコリが付着して熱交換が不十分だと、電気代が増えます。また冷蔵ユニットの寿命が短くなります。

4.2.使用方法

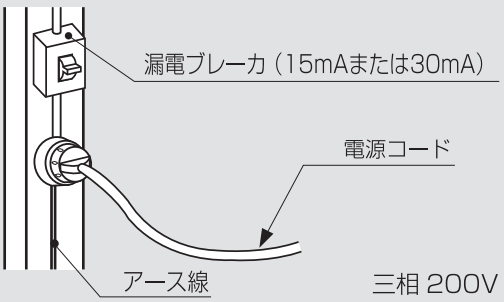
⚠ 警 告

漏電ブレーカを取付けてください。

4.2.1.電源の接続について



単相 100V



三相 200V

電源コンセントにプラグを差し込むと庫内温度が表示され、冷蔵運転を開始します。
（冷蔵運転の開始は、庫内温度が設定温度より高い場合に限ります。）
電源プラグを抜いて運転を停止したときは、冷蔵ユニットの故障防止や電源のトラブル防止のため、**5分間以上停止**したままにしてください。

注 意

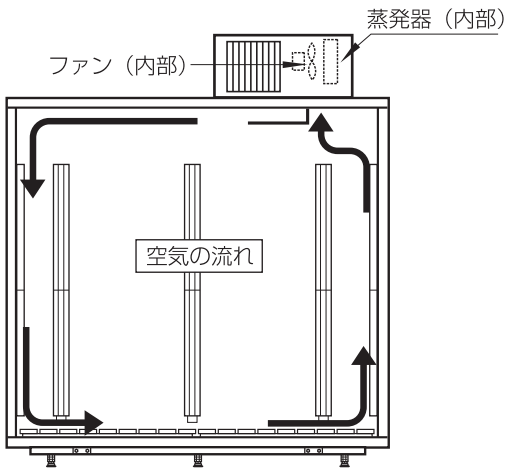
●三相電源の場合、温度表示が出なくて全く動かない時は、
電源の相が逆です。
電源プラグの三相の内、二相を入れ替えてください。（赤、黒線）
元電源を抜いてから作業を行なってください。
アース線（緑色）は絶対に入れ替えないでください。

重 要

1.15A以上の専用コンセントを設けて単独で使用してください。
2.安全のため漏電ブレーカを取付けてください。
3.コードリールは使用しないでください。
4.たこ足配線は絶対しないでください。
5.電源コードは踏みつけないでください。

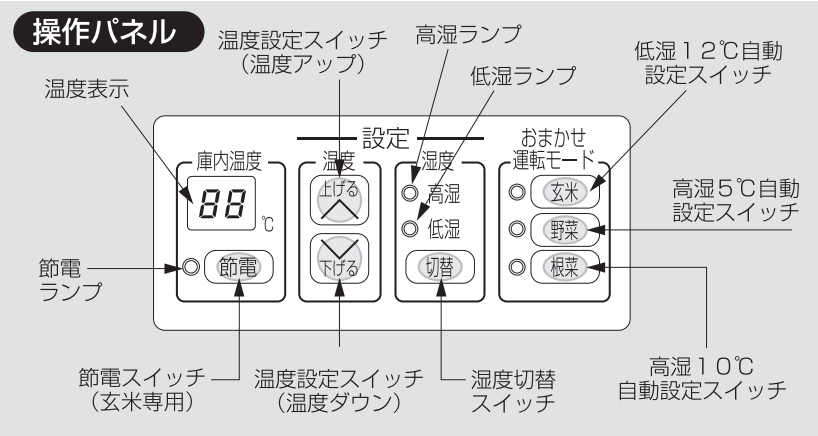
4.2.2.庫内冷却について

庫内には冷却空気を循環させるためにファンが付いています。このファンは庫内の貯蔵物を均一に冷却させるためのもので、急冷用ではありません。庫内壁面には冷気が流れるためのすき間を開けてください。



4.2.3.庫内温度・庫内湿度の設定と表示について

Yタイプ



庫内温度の設定および庫内湿度の設定は、操作盤にある操作パネルで行います。

おまかせ運転モード

玄米を押す…
庫内温度は**12℃**に設定されます。
庫内湿度は**低湿**に設定されます。
玄米ランプと低湿ランプが点灯します。

野菜を押す… 庫内温度は**5℃**に設定されます。庫内湿度は**高湿**に設定されます。
野菜ランプと高湿ランプが点灯します。

根菜を押す… 庫内温度は**10℃**に設定されます。庫内湿度は**高湿**に設定されます。
根菜ランプと高湿ランプが点灯します。

節電モード

節電を押す… 庫内温度は**14℃**に設定されます。庫内湿度は**低湿**に設定されます。
節電ランプ、玄米ランプ、低湿ランプが点灯します。

手動モード

上げる 下げる を押す… 庫内設定温度を上げたいときは上げるを押し、
庫内設定温度を下げたいときは下げるを押します。
上げるまたは下げるを押すと温度表示部の数字が点滅します。
点滅している数字が設定温度です。
上げるまたは下げるを押すと **おまかせ運転モード** **節電モード** 設定は自動的に解除されます。

切替を押す… 庫内湿度が切り換えられます。
切替を押すたびに高湿と低湿が切り換わり、どちらかのランプが点灯します。
この場合 **おまかせ運転モード** **節電モード** 設定は自動的に解除されます。

操作パネルで、貯蔵する物によって庫内の湿度を切り換えて使用できるようになっています。
下表を参考にして切り換えてください。

湿度切換	庫内湿度(%)	温度調節	代表的な用途	蒸発器ファンの働き（庫内ファン）
低　　湿	55～75	2～20℃	玄米、籾、小麦など	圧縮機が止まると蒸発器ファンが止まる(＊) 圧縮機が動くと蒸発器ファンも動く 圧縮機が止まるが蒸発器ファンは動く（霜取り時）
高　　湿	70～90	2～20℃	生鮮野菜など	連続して運転する

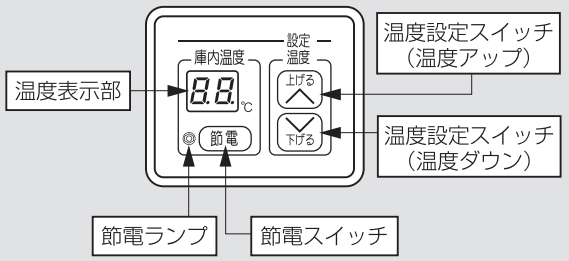
＊圧縮器停止1分後に5分間蒸発器ファンが動きます。

重 要

玄米などの乾燥物と生鮮野菜などを一緒に貯蔵しないでください。
庫内湿度は参考値です。ドアの開閉頻度や、外気の温度、湿度により変化します。
野菜や果物はその貯蔵温度・貯蔵湿度・貯蔵期間をよく確認してから貯蔵してください。

Gタイプ ※Gタイプでは庫内温度の切替はできません。

操作パネル



・庫内温度は9℃～20℃の範囲で設定できます。
（出荷時は12℃に設定されています。）
・温度設定の方法については、2通りあります。

通常モードによる方法

①**「上げる」**または**「下げる」**を押すと、温度表示部に設定温度が点滅表示されます。
②温度設定を上げたいときは**「上げる」**を押します。
温度設定を下げたいときは**「下げる」**を押します。
③操作終了後、**5秒後**に庫内温度が点灯表示されます。

節電モードによる方法

①操作パネル内の**「節電」**を押して節電ランプを点灯させます。
②温度設定は**「14℃」**に固定されます。
③**「節電」**、**「上げる」**あるいは**「下げる」**を押すと、節電モードは　解除されます。

庫内温度	庫内湿度	用　途	蒸発器ファンの働き（庫内ファン）
9℃～20℃	55%～75%	玄米専用	圧縮機が止まると蒸発器ファンが止まる （蒸発器ファンは、圧縮機停止の1分後に30秒～3分間動きます） 圧縮機が動くと蒸発器ファンも動く 圧縮機が止まるが蒸発器ファンは動く（霜取り時）

（庫内湿度は参考値です。ドアの開閉頻度、外気温度・湿度により変化します。）

共　通

重要

●庫内温度は、通常モードの場合は、設定温度に対して±2℃の範囲で制御します。また、節電モードの場合は＋2.5～－1の範囲で制御します。
●表示温度も通常この範囲を表示します。但し、圧縮機保護のため、圧縮機の最低運転時間が3分間となっていますので、一時的に（設定温度－2℃）の範囲をこえることがありますが、異常ではありません。（設定温度と庫外温度の差が少ないときなど）
●設定温度を15℃以上にする場合、15→H→16→……と表示します。これは玄米保管に適した温度を超えることをお客様に示す為であり、故障ではありません。

4.2.4.霜取りについて

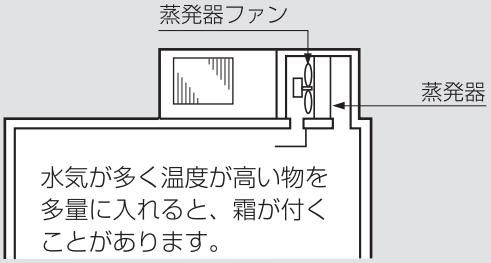
熱交換器（蒸発器）の霜取りは、コンプレッサが停止したとき自動的に行われます。
また、**2時間ごとに10分程度コンプレッサを停止して霜取り**を行います。(**蒸発器ファンのみが回ります**。)通常の使い方では霜が付くことはありませんが、水気が多く、温度が高い物を多量に入れたときなどに霜が付くことがあります。この場合は、一旦電源プラグを抜き、霜がとけてから電源プラグを入れ直してください。

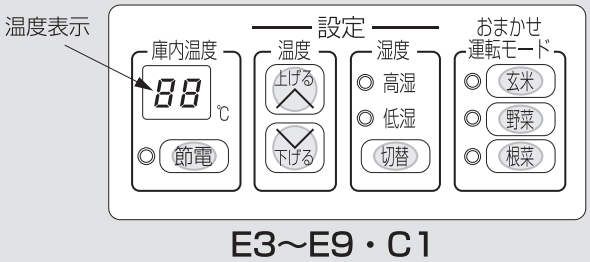
4.2.5.チェックコード表示とエラーコード表示

運転中に異常があると温度表示部にチェックコードC1または、温度表示を点滅表示します。(運転を停止します。) {⑦困ったときには}を参考に点検してください。
故障があると、温度表示部にエラーコードE3～E9を点滅表示します。(運転を停止します。)この場合は部品故障が原因ですので購入先に修理を依頼してください。

●エラーコード・チェックコード一覧

表示	異　常　内　容	対　応
E3	庫内温度サーミスタの短絡	部品交換
E4	庫内温度サーミスタの開放	部品交換
E6	オーバーヒートサーミスタの短絡	部品交換
E7	オーバーヒートサーミスタの開放	部品交換
E8	除霜サーミスタの短絡 **Yタイプのみ**	部品交換
E9	除霜サーミスタの開放 **Yタイプのみ**	部品交換
C1	オーバーヒートサーミスタ高温	P25参照





E3～E9・C1

4.2.6.排水について

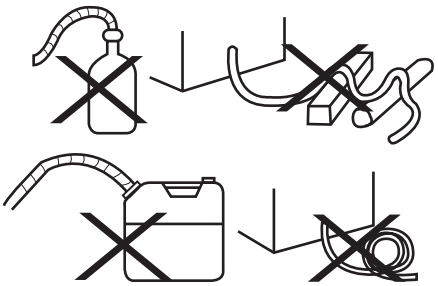
Yタイプ

冷蔵ユニットの排水は本体右側の排水ホースから出ます。排水の出る量は、庫内に貯蔵する物、ドアの開閉回数で変わります。また、保冷庫が設置してある場所の換気状態でも変わります。

注 意

排水ホースを延長して室外に排水する場合は排水ホースをまっすぐに延ばしてください。排水ホースが曲がっていますと庫内に水滴がおちてくることがあります。排水ホースの確認をしてください。

【やってはいけない例】



Gタイプ

冷蔵ユニットの**排水は、ユニット内で蒸発**するようになってます。排水ホースは、多量の排水があった時、本体の天板に水が落ちないように取付けています。（ドアを閉め忘れた時や、ドアを何回も開閉した時には、排水ホースから水が出ることがあります。）

重 要

排水が出ることがありますので次のことをお守りください。

- ドアは確実に閉めてください。
- ドアを頻繁に開閉しないでください。
- 長時間ドアを開ける時は電源プラグをコンセントから抜いてください。

4.2.7.貯蔵品の入れ方について

重 要

①貯蔵品を庫内に入れるとき、**壁面から25mm以上開けて**、冷気が庫内をまんべんなく循環するようにしてください。

②庫内上部には**冷気の吹出し口、戻り口**があります。この部分が**ふさがれると冷却できませんので、50mm以上のすき間**を取ってください。

③温度が高いものは、外気温度と同じになるまで待ってから入れてください。

4.2.8.玄米の貯蔵について

3001･3003タイプは**30kg**の紙袋で**54袋**、6001･6003タイプは**108袋**を貯蔵できます。

①3001･3003タイプは**6個･9段**に、6001･6003タイプは**12個･9段**に積んでください。

②**設定温度は15℃以下、庫内湿度は低湿**にしてください。
15℃以下になっていれば虫の発生はありませんし、古米化も防止できます。

③玄米を貯蔵するときは、水分の多い品物（野菜･果物など）や香りを発生する品物との同時貯蔵はしないでください。一緒に貯蔵できるものは、封印してあるビール類･飲料水･缶詰などです。

④**精米を行う場合は袋を庫外に出し、中の玄米が外気温度と同じになってから精米**してください。
夏場は温度差が大きいため12時間以上の時間が必要です。
玄米が冷えた状態で精米すると、うまく精米できないことがあります。

⑤初夏から夏（6～9月）にかけて玄米を取り出す時は、早朝の温度が低いときに取り出すように心がけてください。

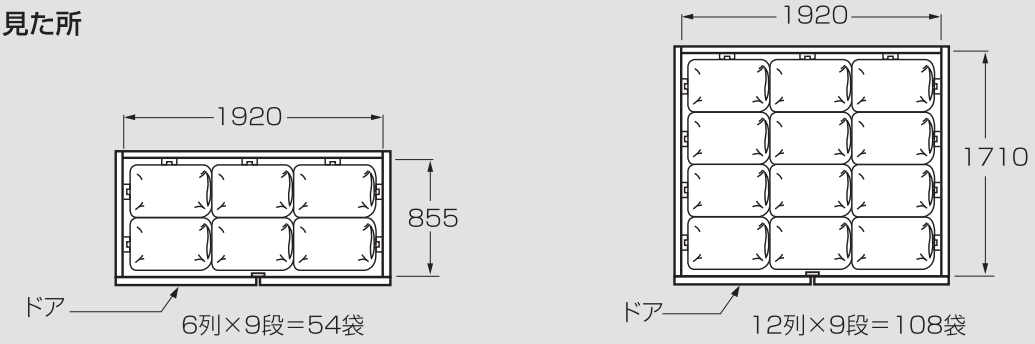
重 要

●貯蔵中の米袋に冷気が直接当らないようにしてください。
●必ず、冷気の循環路を確保してください。
●冷えた玄米を外気にさらすと、表面に露が付き（結露）玄米の表面が白くひび割れを起すことがあります。紙袋の口は開けないでください。
精米直前に開封してください。

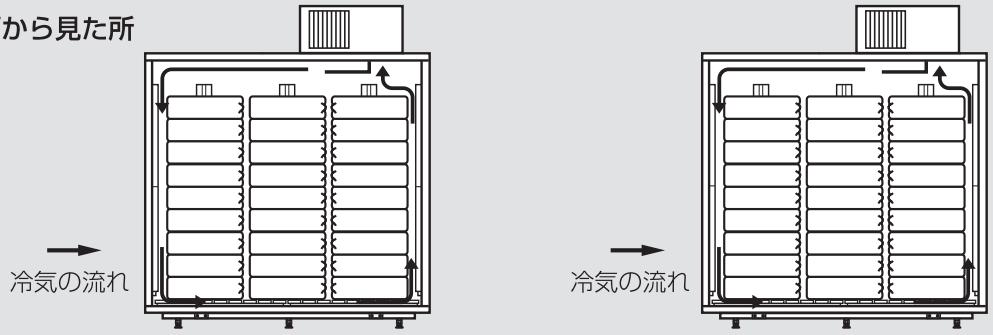
⚠ 注 意

米袋はドアを開けた時、崩れないように後の荷摺り柱にもたれさせるように積んでください。崩れると、カギを掛けた状態でもドアが少し開き、庫内に水滴が落ちてきたり、天パネルに水滴がたまることがあります。

●上から見た所



●正面から見た所



4.2.9.結露について

著しく高温·高湿の時には、本体全体に結露が生ずることがありますが故障ではありません。やわらかい布で拭き取り、本体周りの風通しをよくしてください。（場合によっては、本体を温度·湿度の低い場所に移動してください。）

4.2.10.ドアの密閉について

ドアは確実に閉めてください。
マグネットパッキンが本体に密着しているか確認してください。
ドアを閉めた直後、すぐにドアを開けようとするとドアが重くなります。これは、庫内に入った空気が急に冷やされて、庫内の圧力が一時的に庫外より低くなるためです。

重 要

ドアがしっかり閉まっていないと庫内に露が付き、お米がカビることがあります。また、天パネルに水滴がたまることがあります。

注 意

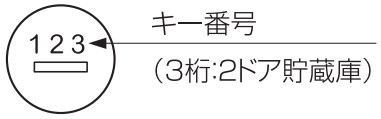
設置状況や、使用状況によりドアパッキンが硬化などして交換が必要になる場合があります。

⚠ 注 意

1.ドアは取手を持って閉めてください。
ドアに指などをはさんでケガをすることがあります。
2.ドアの回転側に手や指などを入れていないことを確認してから、ドアを閉めてください。
3.ドアは勢いよく閉めないでください。
4.ドアを閉じる時中仕切が正しい位置にあることを確認してください。誤った位置で無理に閉めようとすると、中仕切が破損することがあります。
5.短い時間（間隔）で開閉すると、機械が故障する可能性があります。

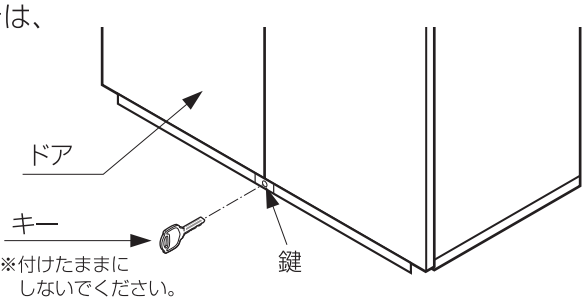
4.2.11.カギについて

貯蔵品の出し入れが終わったら必ずカギをかけてください。カギをかけるときは中に人がいないことを確認してください。キーは2個ありますので別々に保管すると紛失したときに安心です。2個とも紛失して注文するときは、本体のキーの番号を連絡してください。



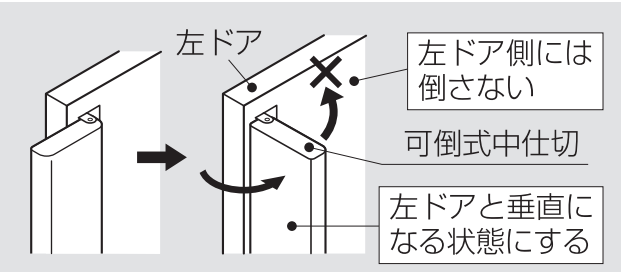
※実際のキー番号とは異なります。

⚠ 注 意 **カギは本体中央部、ドア下側にあります。付けたままにしないでください。ぶつかってけがをしたり、キーが折れることがあります。**



4.2.12.可倒式中仕切について

左ドアに可倒式中仕切がついていますが、左ドアと平行になる状態で左ドアを閉めますと右ドアに当ります。垂直になる状態にしてから閉めてください。
可倒式中仕切を垂直な状態から左ドア側には倒さないでください。また、無理な力を掛けないようにしてください。



5 点検と掃除と廃棄

この章では、機械の点検箇所と方法、掃除箇所と方法および廃棄について説明しています。

5.1.点検箇所と方法

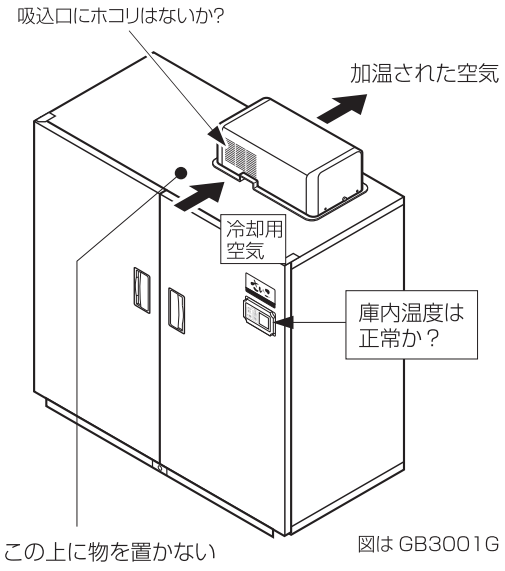
5.1.1.庫内温度の点検

●温度表示で庫内温度を確認してください。

⚠ 警 告 **本体や冷蔵ユニットの上に乗ったり、物を置かないでください。ドアを開けた時に物が落下し、ケガをすることがあります。**

5.1.2.吸込口の点検

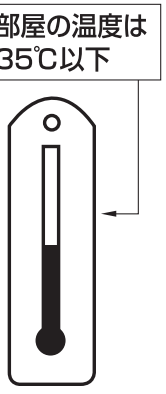
●冷蔵ユニットの前面、後面には物を置かないでください。
●吸込口にホコリがついていないか確認してください。
冷却用空気が吸込口を通過しています。ここがふさがれますと、冷却能力が下がり、庫内が冷えなくなります。
また冷蔵ユニットの寿命を短くしますので注意してください。



図は GB3001G

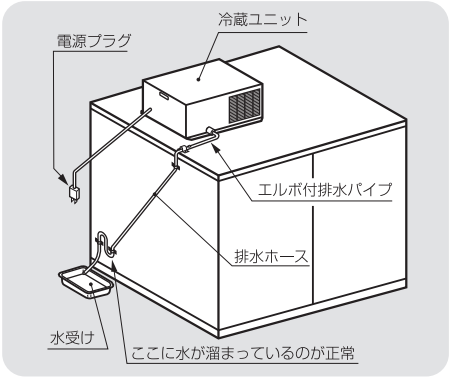
5.1.3.設置場所室温の点検

室内の温度が35℃以下であることを確認してください。



注意
●室内の温度が35℃以上になると冷却能力がいちじるしく低下します。電気代のムダや、冷蔵ユニットの故障の原因となりますので**風通しをよくする工夫**をしてください。
●室内の温度が40℃以上になると、更に冷却能力が低下し冷蔵ユニットが**常に運転している**状態になる可能性があります。

5.1.4.排水の点検 Yタイプ



●エルボ付排水パイプ・排水ホースは冷蔵ユニットに接続され、先端まで詰まらずに水が流れて行くか確認してください。
エルボ付排水パイプ・排水ホースがしっかり差し込まれていることを確認してください。本体右側のS字形の曲がりは、わざと水が溜まるようにしてあります。U字の部分には水が溜まっているのが正常です。「水受け」に溜まった排水はこまめに捨ててください。

5.1.5.長期間使用しないとき

●電源プラグを抜き、ドアを開いて、庫内を乾燥させてください。

⚠警告 **冷蔵ユニットの内部に指や棒、針金等を入れないでください。**
冷気の吹出し口、戻り口に手を入れないでください。感電やケガをすることがあります。

5.2.掃除箇所と方法

5.2.1.吸込口の掃除

①電源プラグを抜いて運転を停止します。
②掃除機と柔らかい毛のブラシを用意して吸入口、及びフィンに付着したホコリを取り除きます。

⚠警告 **1.内部のフィンに素手でさわらないでください。**
2.水はかけないでください。

注意 1.内部のフィンを曲げないようやさしく扱ってください。
2.刃物や先の鋭いものを使わないでください。フィンや凝縮器が破損することがあります。

5.2.2.ドアや庫内の掃除

①電源プラグを抜いて、運転を停止します。
②洗剤を使う場合は、薄めた中性洗剤を柔らかい布かスポンジに含ませて拭いてください。
次に、洗剤が残らないよう、水拭きしてください。**水をかけて洗わないでください。**
③カビが見られるときは、消毒用エチルアルコールをスプレーすると効果があります。アルコールの臭いがなくなるまでドアを開けておいてください。

⚠警告 **1.消毒用エチルアルコール以外の溶剤**（例えばベンジンやシンナーなど）や**酸性やアルカリ性の洗剤**（風呂用洗剤など）**は絶対に使わないでください。**
2.冷蔵ユニットには直接水をかけないでください。漏電や故障の原因になります。

5.3.貯蔵庫の廃棄について

●長年お使いいただいた後、廃棄される場合は、必ずドアと冷蔵ユニットをはずし、本体と別にしてください。
●廃棄は廃棄物処理法により適正に処理してください。（不法投棄は絶対にしないでください。廃棄物処理法により罰せられます。）
●地域により廃棄方法や区分が異なることがあります。詳しくは、各市町村の廃棄担当部署にご確認の上、処理をしてください。
●廃棄には費用が掛かりますので、ご負担をお願い致します。
冷媒の回収は第1種フロン類回収業者に依頼されるか、ご購入先に相談してください。
※フロンの回収には費用が掛かりますので、ご負担をお願い致します。

⚠警告
1.ドアをはずしていないと、子供が閉じ込められて事故の原因になります。
2.子供が遊ぶ場所に放置しないでください。

重要
●地球環境保護のため、次の事が法律で決められていますので必ず守ってください。
1.この製品に封入されている冷媒をみだりに大気中に放出しないでください。
2.この製品の廃棄・整備時は、封入されている冷媒を回収してください。

●この製品に使用しているフロンは下の通りです。

機　　種	冷媒の種類と量
GB3001G・6001G	HFC-134a、130ｇ
GB3003G・6003G	HFC-134a、225ｇ

機　　種	冷媒の種類と量
GB3001Y・6001Y	HFC-134a、315ｇ
GB3003Y・6003Y	HFC-134a、315ｇ

6 組立要領

この章では、機械の組立について説明しています。

6.1.組立の前に

重 要

●作業に適した服装と靴で作業してください。
●体調が良くない、フラフラするなど健康に異常がある時は作業しないでください。
思わぬ作業ミスやケガの恐れがあります。
●連携作業は、足元を確認した上で声を掛け合って行ってください。
●本体上部での作業（冷蔵ユニットの取付）はしっかりした足場を用意し、
足元を十分に確認してから行ってください。
●必要な工具を準備してください。
●必要な部品が揃っていることを確認してください。

6.2.組立の手順

6.2.1.設置スペース

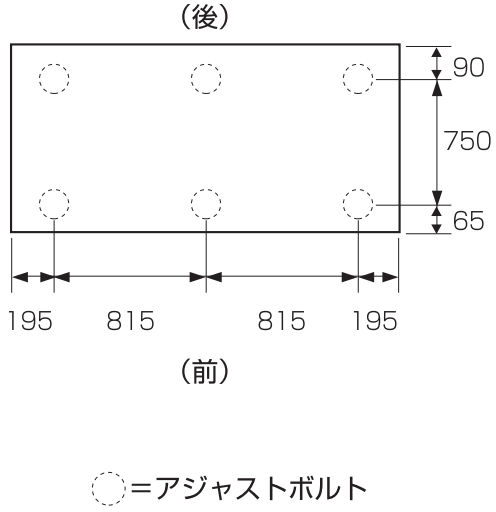
設置スペースを確保してください。

重 要

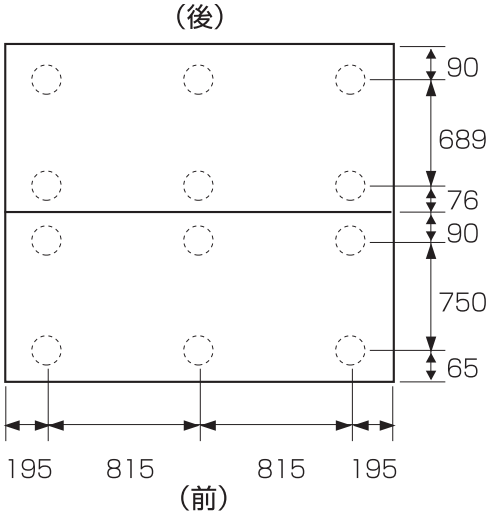
1.本体の周囲には、左右500mm、後面100mm、上面300mm以上のスペースを取ってください。
2.設置場所は平らな所で、しっかりしている床面（コンクリート床）に設置してください。
アジャストボルトには、最大で400kgの荷重がかかります。床面がしっかりしていないと、貯蔵物の重量により本体の水平がくずれます。
本体の水平がくずれると、庫内に水滴が落ちてくることがあります。
3.直射日光が本体に当たらないようにしてください。
（電気の消費が増すと同時に冷蔵ユニットのコンプレッサーに無理がかかります。）
4.換気ができる所に設置してください。
（電気の消費が増すと同時に冷蔵ユニットのコンプレッサーに無理がかかります。）
5.設置後、リフト等で本体を移動させないでください。本体が変形することがあります。

●アジャストボルトの位置

3001・3003タイプ



6001・6003タイプ



6.2.2.組立・設置に必要な工具類

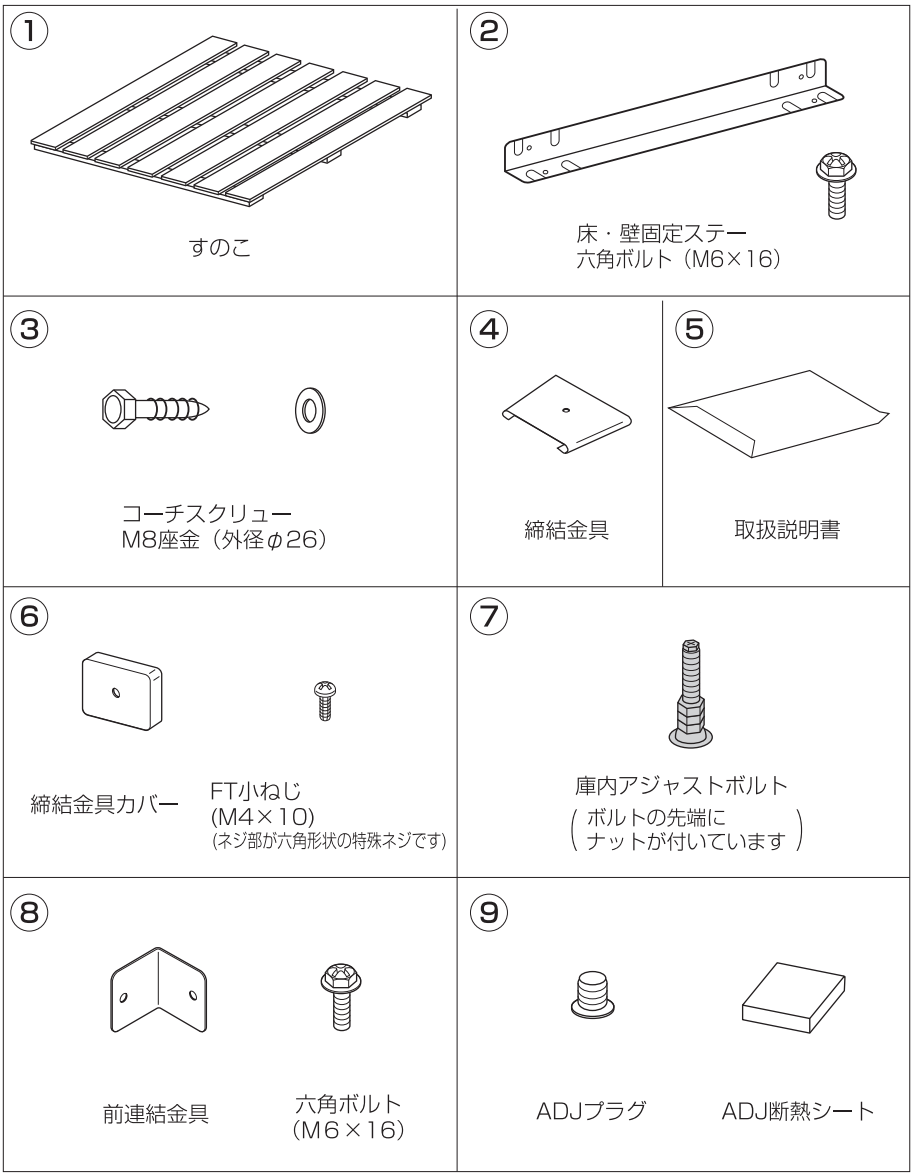
必要な工具類を準備してください。

		3001・3003・6001・6003タイプ
ボックスレンチ	10mm	○
スパナ	10mm	○
	13mm	○
	24mm	○
⊕ドライバー	大	○
	中	○
ハンマー		○
脚立		○
ヘルメット・安全靴・手袋		○
水準器（150mm以上）		○

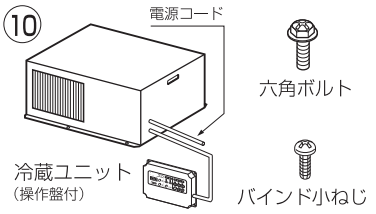
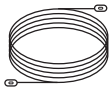
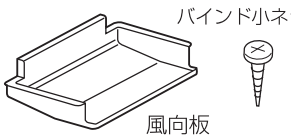
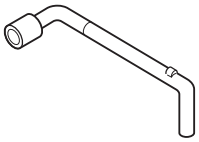
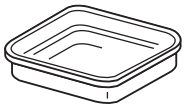
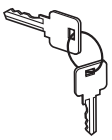
6.2.3.梱包部品の確認

部品が揃っていることを確認してください。

■付属品



No.	品名	使用個数	
		3001 3003	6001 6003
1	すのこ	2	4
2	床・壁固定ステー	2	4
	六角ボルト（M6×16）	8	16
3	コーチスクリュー（M8×65）	14	18
	M8座金	14	18
4	締結金具	2	10
5	取扱説明書	1	1
6	締結金具カバー	2	6
	FT小ねじ（M4×10）	2	6
7	庫内アジャストボルト	6	12
8	前連結金具	2	2
	六角ボルト（M6×16）	4	4
9	ADJプラグ	3	9
	ADJ断熱シート	3	9

	品　名	使用個数							
		GB3001Y	GB3003Y	GB3001G	GB3003G	GB6001Y	GB6003Y	GB6001G	GB6003G
⑩ 	冷蔵ユニット	1	1	1	1	1	1	1	1
	六角ボルト (M6×16)	4	4	4	4	4	4	4	4
	バインド小ネジ (M4×12)	4	4	4	4	4	4	4	4
⑪ 	アース線	1	1	1	1	1	1	1	1
⑫ 	風向板	1	1	1	1	1	1	1	1
	バインド小ネジ (M4×12とがり先)	4	4	4	4	4	4	4	4
⑬ 	エルボ付 排水パイプ	1	1	—	—	1	1	—	—
⑭	パイプサドル	1	1	—	—	1	1	—	—
	バインド小ネジ (M4×12とがり先)	2	2	—	—	2	2	—	—
⑮ 	水受け	1	1	1	1	1	1	1	1
⑯	排水ホース	1	1	1	1	1	1	1	1
⑰	クランプ	3	3	3	2	3	3	3	2
	バインド小ネジ (M4×12とがり先)	6	6	6	4	6	6	6	4
⑱	コードクランプ	5	5	7	7	5	5	7	7
	バインド小ネジ (M4×12とがり先)	5	5	7	7	5	5	7	7
⑲ 	キー	2	2	2	2	2	2	2	2
⑳	ヒンジ金具	2	2	2	2	2	2	2	2
	六角ナット (M6)	2	2	2	2	2	2	2	2

※バインド小ネジ（M4×12とがり先）は、最大使用個数分（19個）が付属されています。
※クランプは、最大使用個数分（3個）が付属されています。

6.2.4.組立手順

①床パネルの設置

3001・3003タイプ

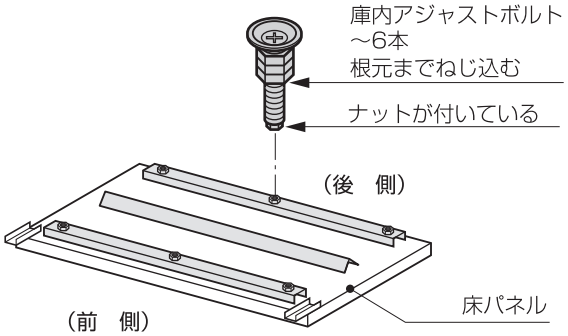
●床パネルをウラ側にし、庫内アジャストボルト（6本）をねじ込みます。

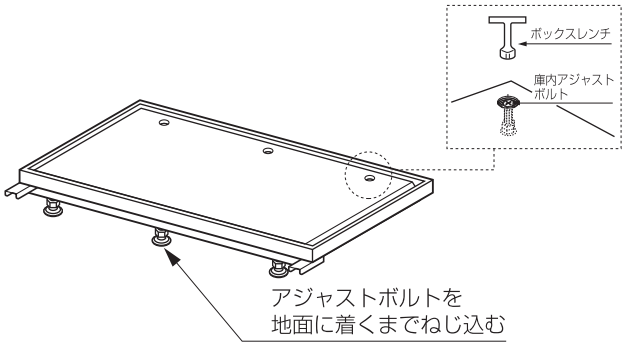
アジャストボルトは、根元までねじ込んでください。

●床パネルを設置し、四隅の（庫内）アジャストボルトを調整してガタをなくします。

この時、水準器を使って、床パネルが水平になっていることを確認してください。

●前側、後側の中央にある2本の（庫内）アジャストボルトを地面に着くまでねじ込みます。





6001・6003タイプ

●床パネル（前）をウラ側にし、庫内アジャストボルト（6本）をねじ込みます。

●床パネル（後）をウラ側にし、庫内アジャストボルト（6本）をねじ込みます。

アジャストボルトは、根元までねじ込んでください。

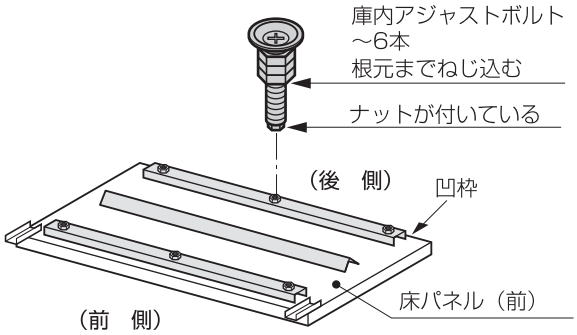
●床パネル（後）を設置場所に置き、床パネル（後）の凸枠に、床パネル（前）の凹枠を差し込みます。

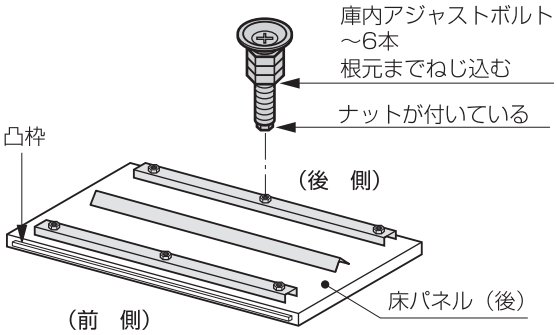
●床パネル（前）、（後）の側面を、締結金具（2個）で仮止めします。

●水準器を使って、床パネル内の一番高い所を探します。

水準器は、本体の枠部分に置いてください。

●一番高い位置のアジャストボルトを動かさずに、18ページの順番に水準器を置いて、アジャストボルトを調整します。





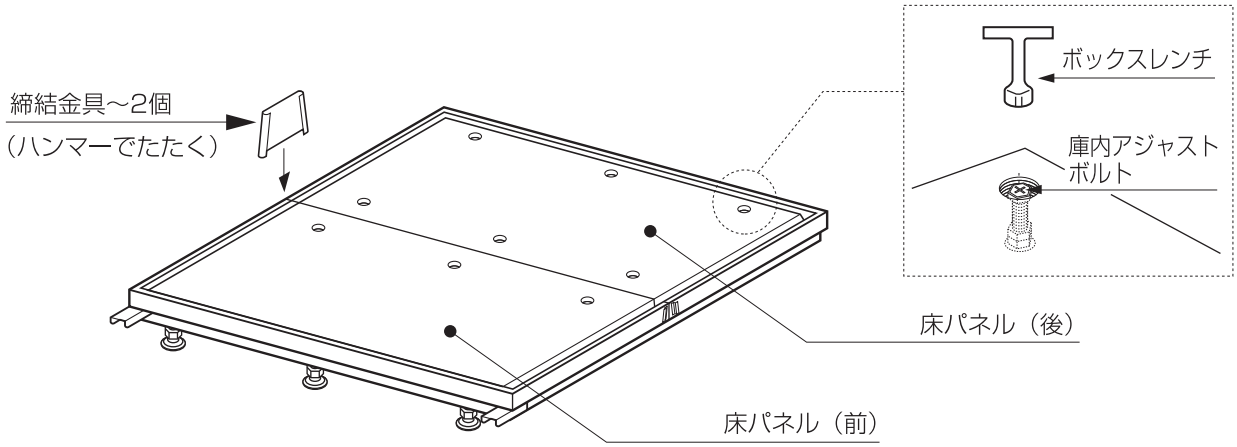
重 要

●床パネルは、ガタのないよう、水平に設置してください。

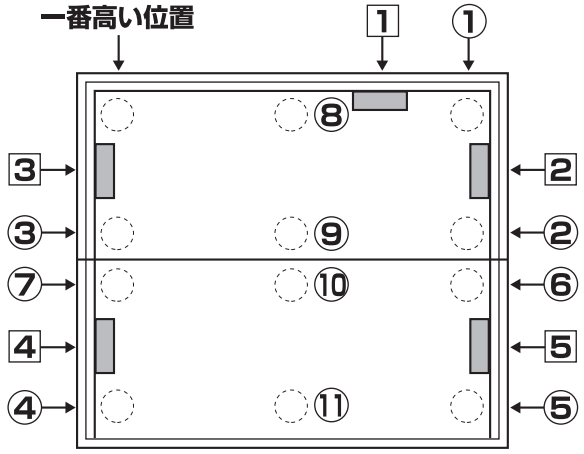
●ガタがあったり、水平がとれていないと、パネル接合部にスキマが生じ、結露することがあります。

●床パネルの水平がしっかりとれていないと、ドアが本体に密着できなくなり、スキマが生じます。（ドアのパッキン部に結露します。）

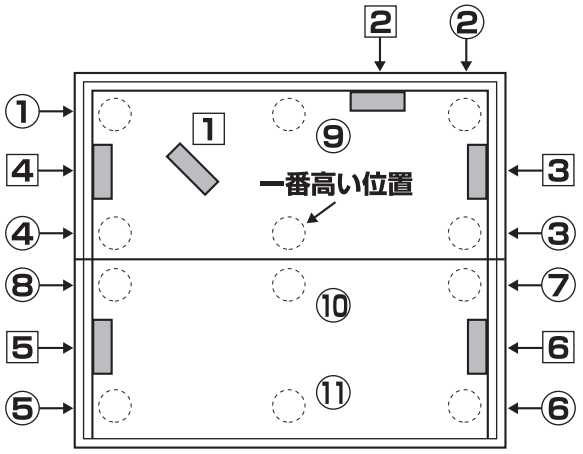
●床パネルを置く床面に、10mm以上の段差がある場合、6.2.1.設置スペースを参照してアジャストボルトの下に、木等を置いて高さを10mm以内に揃えてください。



●コーナーが高い場合



●中央が高い場合



アジャストボルト　水準器　①を調整する時は、1 に水準器を置いてください。

②横・後パネルの組付

注 意
- **●パネルの上端を合わせてから、パネル同士をコーチスクリューで固定してください。**
- **●コーチスクリューは、締めすぎないでください。締めすぎると空回りします。**
- **●パネルに貼り付けてある数字が下側になるように組み付けしてください。**

●床パネルの上に横・後パネルを組み付けます。
●パネル内側の左下隅の数字の順に組み付けます。
●横パネルは、床・壁固定ステーで床パネルと固定し、倒れないようにします。(仮締め)
●横パネルと、後パネルは、コーチスクリューで固定します。
●左後パネルと右後パネルを締結金具で結合します。
●6001・6003の場合は、横パネル(前)と横パネル(後)も締結金具で結合します。
●締結金具には締結金具カバーを取り付けます。(3001・3003～2カ所、6001・6003～6カ所)

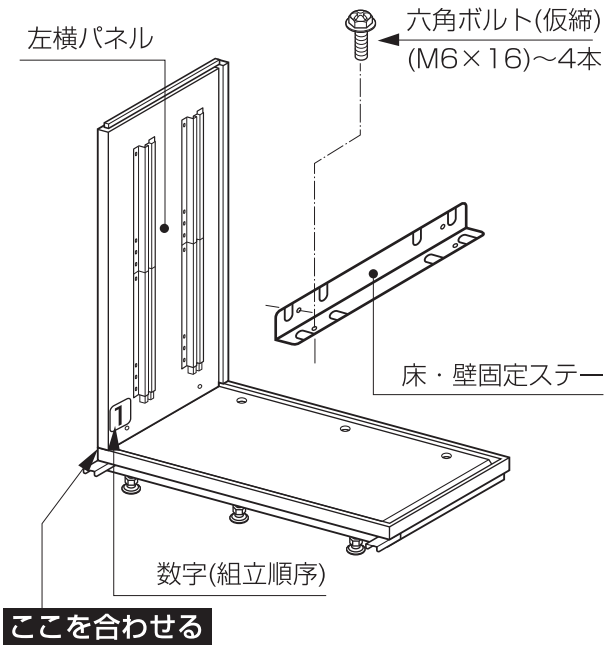
■パネル組付順序

3001・3003タイプ
❶左横パネル→❷左後パネル→❸右後パネル→❹右横パネル

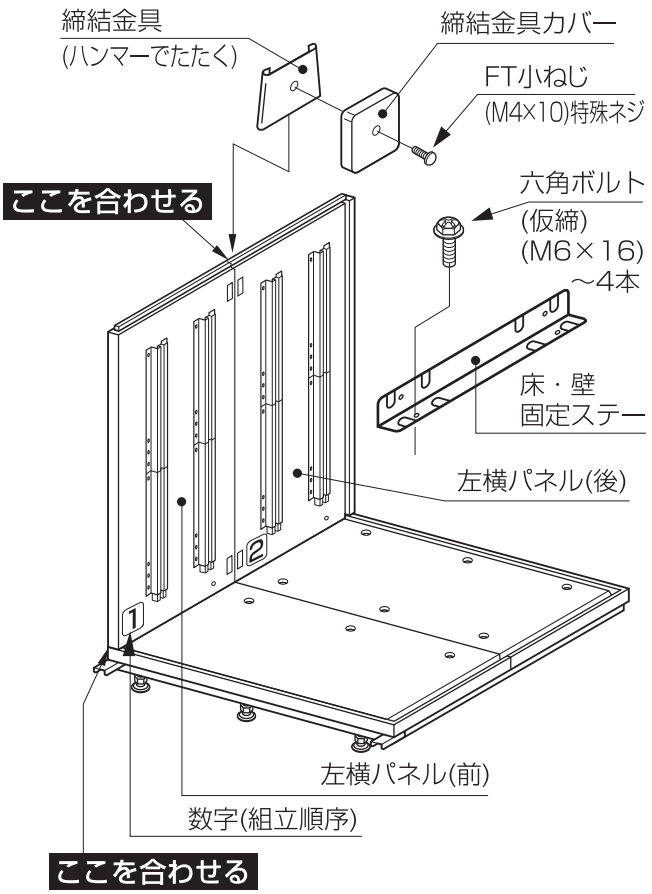
6001・6003タイプ
❶左横パネル(前)→❷左横パネル(後)→❸左後パネル→❹右後パネル→❺右横パネル(後)→❻右横パネル(前)

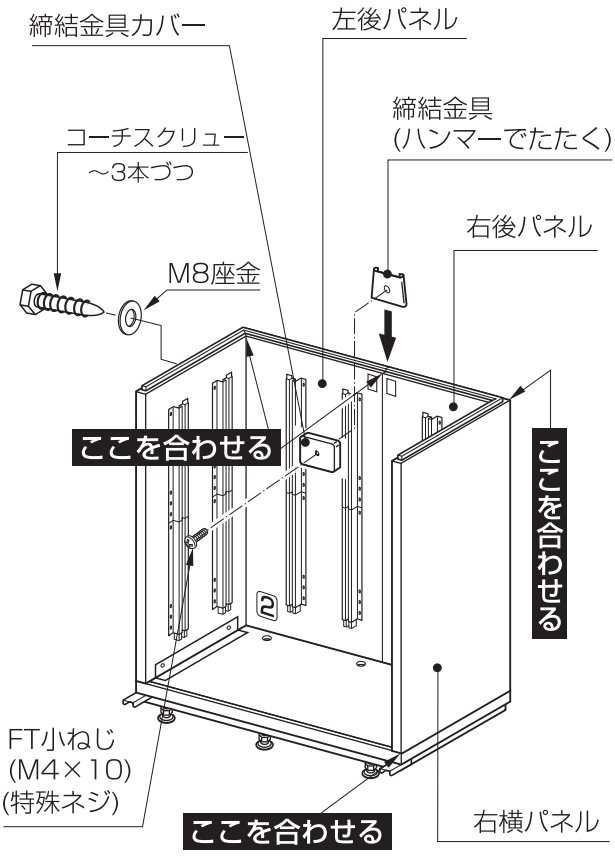
重 要　パネル前面部を合わせてから、ネジを本締めしてください。隙間が開き、結露の原因になります。

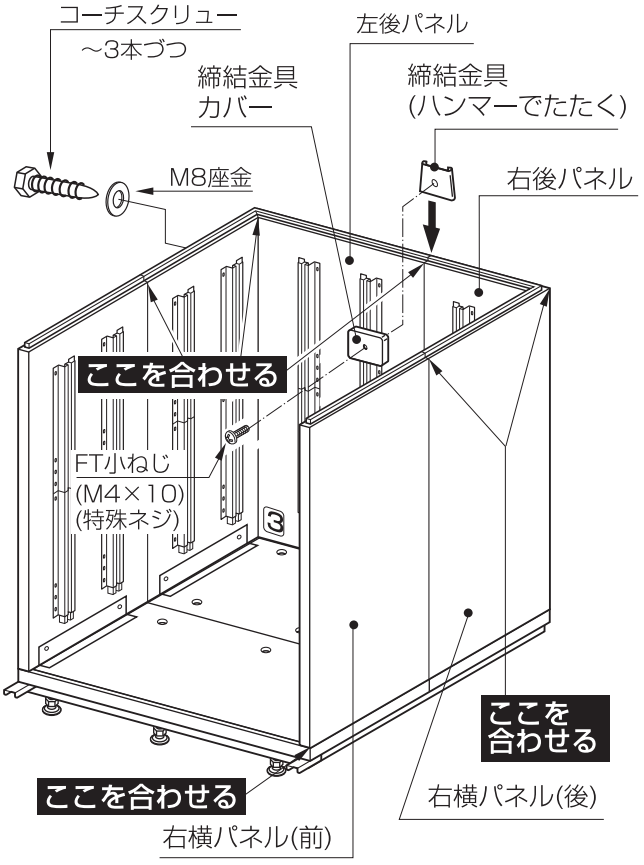
3001・3003タイプ



6001・6003タイプ







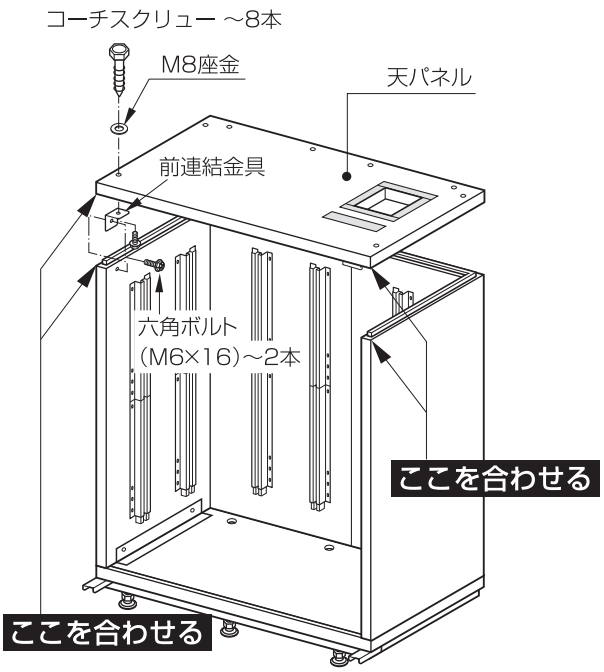
重要 パネル前面部を合わせてから、ネジを本締めしてください。隙間が開き、結露の原因になります。

③天パネルの組付

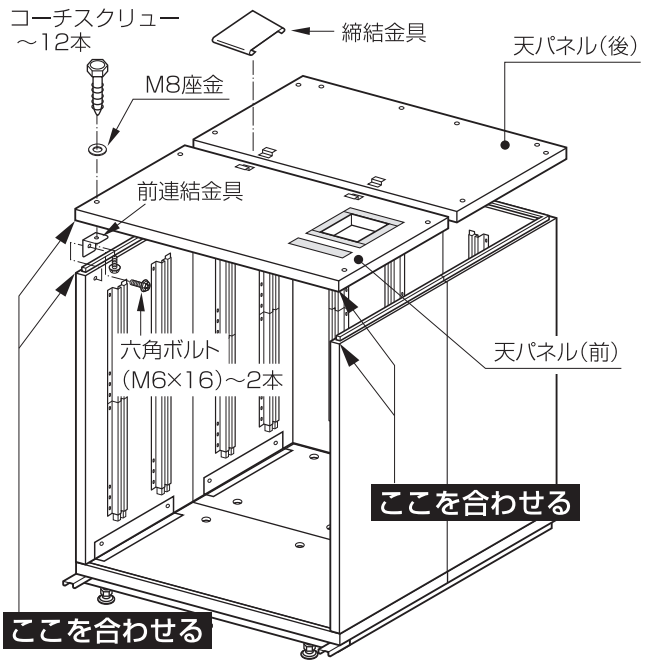
●横･後パネルの上に(3001･3003タイプ)は天パネル、(6001･6003タイプ)は天パネル(後)･天パネル(前)の順番で乗せます。
●横パネルと、天パネルに前連結金具を、六角ボルト(M6×16)で固定します。
●6001･6003タイプの場合は連結金具にて天パネル(前)と(後)を固定します。
●コーチスクリューを締め付けます。

重要 **パネル前面部を合わせてから、ネジを本締めしてください。隙間が開き、結露の原因になります。**

3001・3003タイプ



6001・6003タイプ

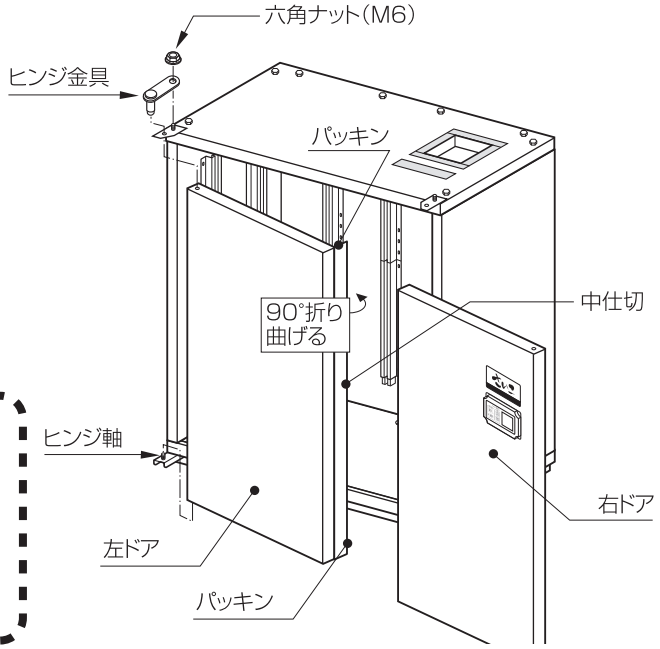


注 意

●本体パネルの接合部にスキマができて直らないときは、透明シリコンコーキング材で埋めてください。
●コーキングした後は、指で押さえてコーキング材をパネルに密着させてください。

④ドアパネルの組付

●左ドアの中仕切をあらかじめ90度折り曲げておきます。
●左ドアの下部を左側のヒンジ軸にはめます。
●左ドア上部にヒンジ金具をはめ込み、六角ナット(M6)で固定します。
●右ドアの下部を右側のヒンジ軸にはめます。
●右ドア上部にヒンジ金具をはめ込み、六角ナット(M6)で固定します。



注 意

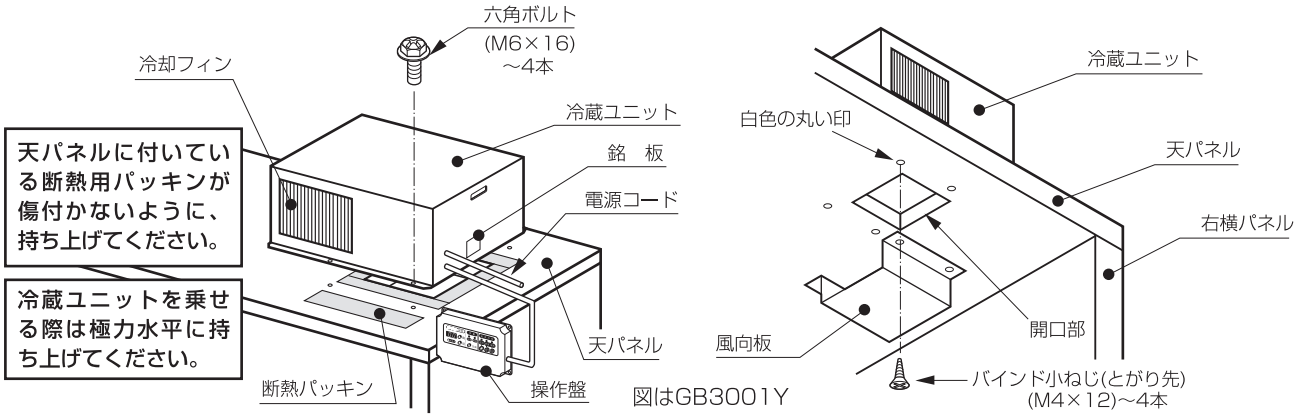
ドアを閉める時、中仕切が天パネル、床パネルのどちらかに当り閉まりにくい場合があります。中仕切を上下に動かして当たらないようにしてください。
(パッキンが当たるのは正常です。)

⑤冷蔵ユニットの組付

●天パネルに冷蔵ユニットを組み付けます。
●天パネルの内側に風向板を組み付けます。
この時、天パネルの開口部に冷蔵ユニットの吹出口があることを確認してください。

注 意 冷蔵ユニットの銘板に、ユニット型式の記載があります。確認してください。

適用機種	ユニット型式	電　源	備　考
GB3001Y　GB6001Y	CR-415SS	100V 単相	玄米・野菜共用
GB3003Y　GB6003Y	CR-415TS	200V 三相	玄米・野菜共用
GB3001G　GB6001G	CR-255SS	100V 単相	玄米専用
GB3003G　GB6003G	CR-315TS	200V 三相	玄米専用



重 要

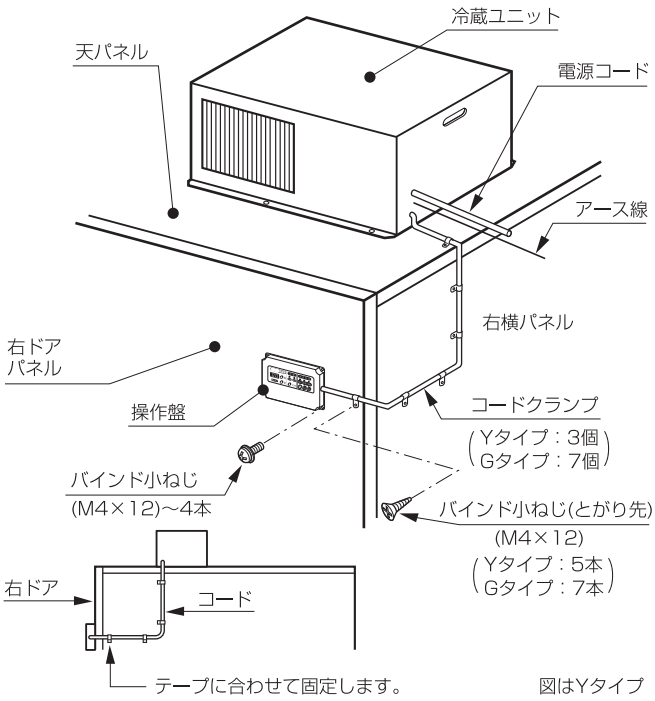
●ダンボール箱から冷蔵ユニットを取り出す時、冷却フィンに手を触れないでください。フィンが曲がります。
●冷却フィンの前に貼ってある保護用ダンボールは、冷蔵ユニットを本体に固定してから外してください。
●冷蔵ユニット底面の発泡スチロール、パッキンは取外さないでください。
●冷蔵ユニットを乗せる連携作業は、足元を確認した上で、声を掛け合って行ってください。
●冷蔵ユニットを乗せる時、電源コードや操作盤を傷めないようにしてください。
●天パネルに付いている、断熱用パッキンを傷付けないでください。

⑥操作盤の組付と配線

●右ドアパネルに操作盤を組み付けます。
●操作盤コードをコードクランプで固定します。
（固定箇所にはφ2.7の穴があります。）
●右横パネル、手前側のコードクランプのみ、コードのテープの位置に合わせます。（コードを少したるませるようにします。
●アース線を冷蔵ユニットに接続します。
（冷蔵ユニットに付いている専用ネジを利用します。）
●アース線は忘れずに接続してください。

注 意

●アース線はガス管や水道管、電話や避雷針のアースには絶対に接続しないでください。



⑦エルボ付排水パイプと排水ホースの組付 **Yタイプ**

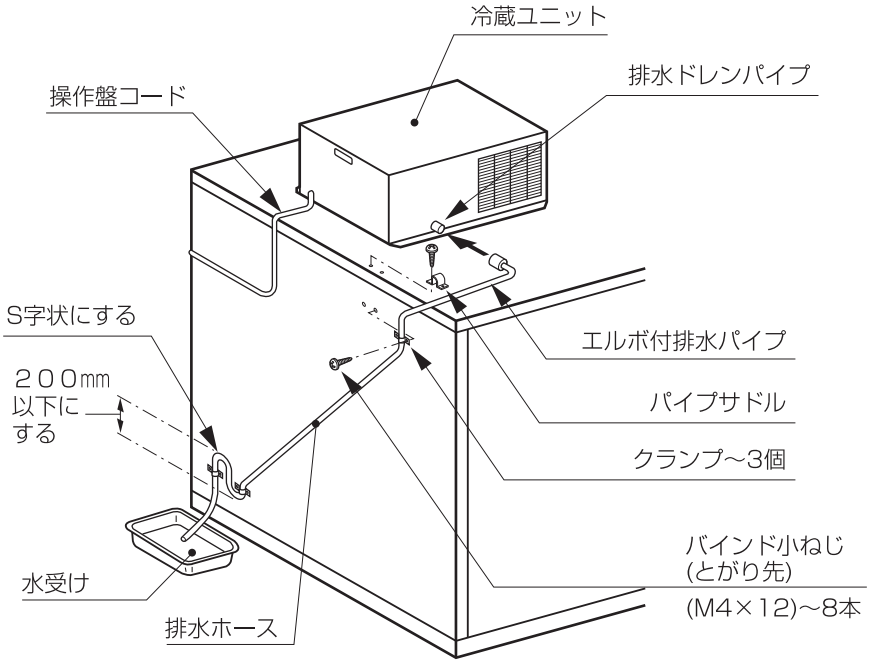
●エルボ排水パイプを冷蔵ユニットの排水ドレンパイプにしっかり差し込み、パイプサドルで固定します。

注　意

●エルボ付排水パイプは根元までしっかり差し込んでください。
●エルボ付排水パイプを差し込むとき、排水ドレンパイプに無理な力がかからないようにしてください。

●エルボ排水パイプに排水ホースを差し込み、クランプで固定します。
●排水ホースの先端はS字状になるようにする。S字の高さは200mm以下にします。
●排水ホースが余るときは、排水ホースの先端を切るなどして、使いやすい長さにします。
●水受けを置きます。

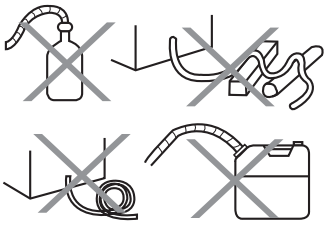
重　要　●排水方向は正面から見て右横方向のみです。他の方向には排水を出さないでください。



重　要

●排水ホースの先端を丸めたり、持ち上げたりしないでください。

●やってはいけない例

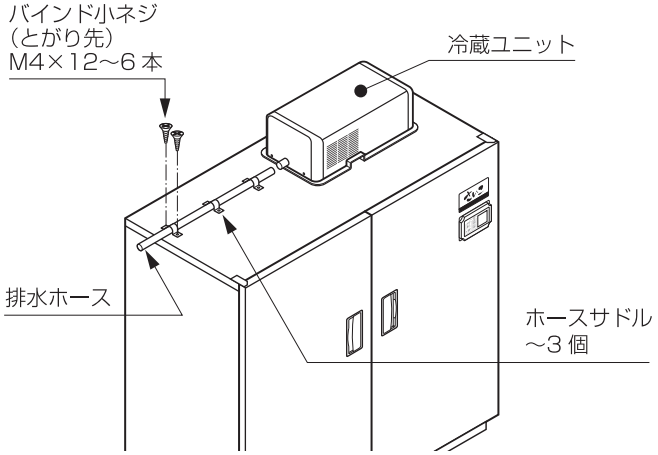


重　要　●エルボ付排水パイプが浮いていないことを確認してください。
●玄米低温貯蔵庫が前後左右に傾いていますと、庫内に水滴が落ちてくることがあります。

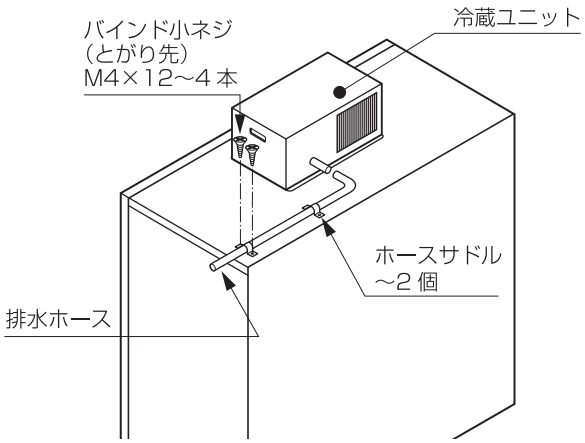
⑧排水ホースの組付 **Gタイプ**

●排水ホースを冷蔵ユニットの排水ドレンパイプに差込みます。排水ホースをホースサドルで本体に固定します。
　排水ホースが余るときは、排水ホースの先端を切るなどして、使いやすい長さにしてください。

GB3001G



GB3003G



⑨アジャストボルト・ローラーの調整

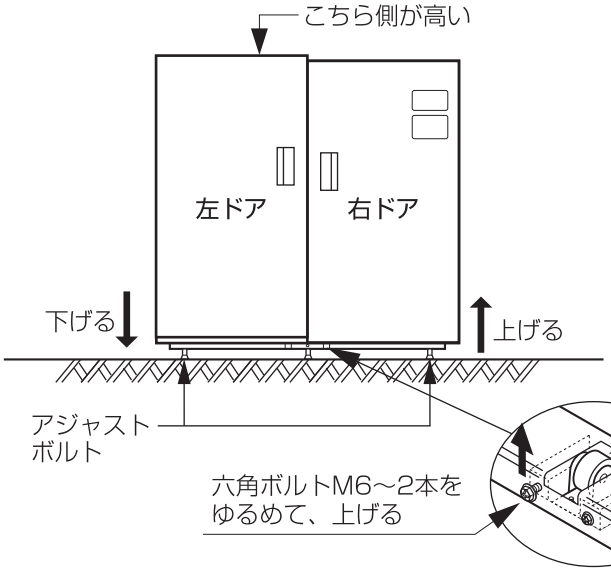
前方調整 （ドアの調整が必要無い場合は読み飛ばしてください。）

●ドアを組み付けた後、ドアに段差があるときは一番手前側のアジャストボルトで調整します。

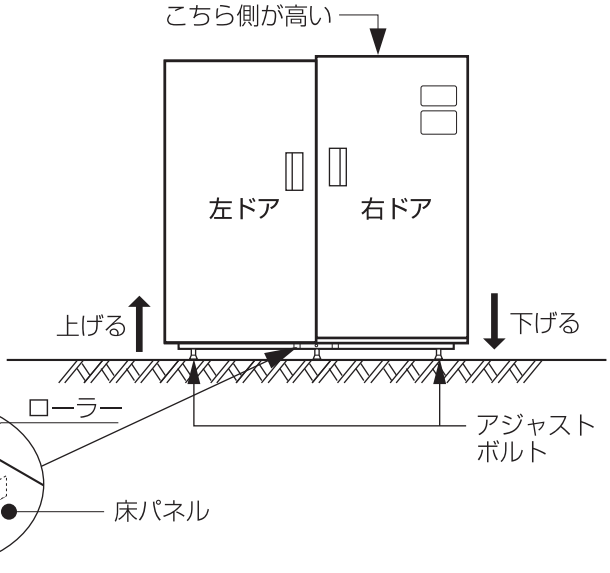
重 要
1.スパナ24mmとボックスレンチ10mmでアジャストボルトを調整します。
2.水平はドアに歪みがないようにドアを開閉しながら調整してください。

●上記対応でも調整できない場合、低いドア側の下側にある、床パネルのローラーを上げてください。

●向って右ドアが高いとき

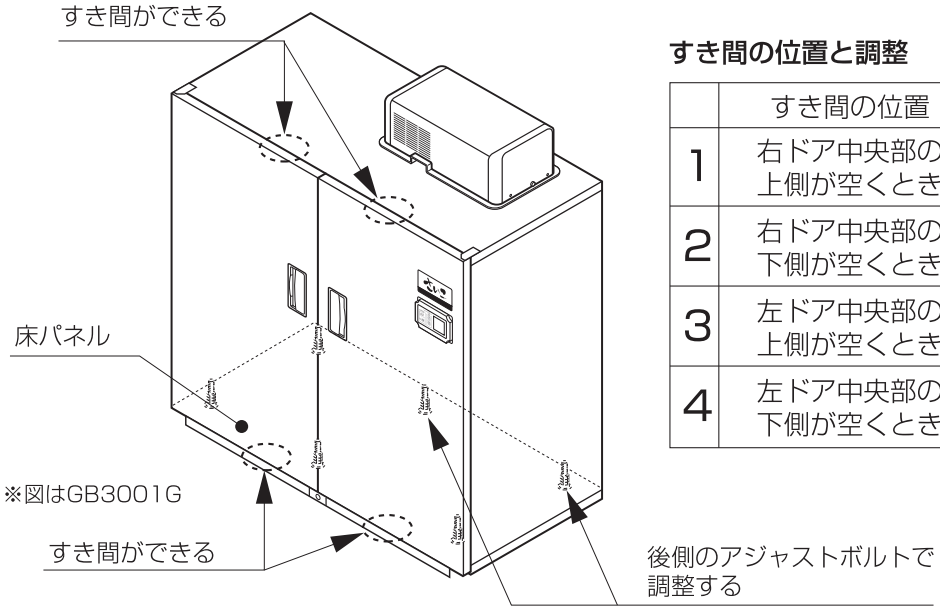


●向って左ドアが高いとき



後方調整 （庫内）（ドアの調整が必要無い場合は読み飛ばしてください。）

●ドアを組み付けた後、ドアと本体にすき間があるときはアジャストボルトで調整します。
3001・3003タイプは、床パネルの後側左右のアジャストボルト、6001・6003タイプは、床パネル（前）の後側左右のアジャストボルトを調整します。



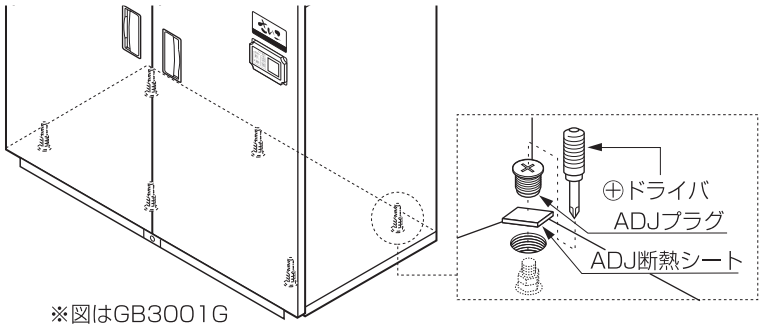
すき間の位置と調整

	すき間の位置	本体の調整方法
1	右ドア中央部の 上側が空くとき	右後側を下げる 左後側を上げる
2	右ドア中央部の 下側が空くとき	右後側を上げる 左後側を下げる
3	左ドア中央部の 上側が空くとき	左後側を下げる 右後側を上げる
4	左ドア中央部の 下側が空くとき	左後側を上げる 右後側を下げる

●調整後、その他のアジャストボルトを床面に当たるまで動かします。
●GB6001・6003タイプは、床パネル（前）と床パネル（後）に段差が出ないように床パネル（後）のアジャストボルトを調整してください。

⑩ADJプラグ・すのこの組付け・型式製番シールの貼付け

●ADJ断熱シートを庫内アジャストボルトに当たるまで詰め込みます。
●ADJプラグを、⊕ドライバ（大）でねじ込みます。
（庫内床面と同一面になるまでねじ込みます。）



※図はGB3001G

重 要
●ADJプラグを入れ忘れると庫内が結露します。
●ADJ断熱シートの真ん中を押しながら、ゆっくり詰め込んでください。
●ADJ断熱シートを入れないと、ADJプラグが結露することがあります。

●すのこを床パネルに設置します。
3001・3003タイプ～2枚／6001・6003タイプ～4枚
●右ドアの下側に適用型式の型式製番シール（現地貼付用）を貼付けます。
●貼付方法は、ラベルに同梱の説明書をご参照ください。

⑪試運転

●電源コンセントにプラグを差し込みます。（操作盤に庫内温度が表示されます。）
●冷蔵ユニットが動き出します。庫内に入り、風向板から風が吹き出していればOKです。
（ただし、設定温度は外気温度以下にしてください。）

注 意
●三相電源の場合、温度表示が出なくて全く動かない時は、電源の相が逆です。
※電源プラグの三相の内、二相を入れ替えてください。（赤、黒線）
元電源を抜いてから作業を行なうこと。
アース線（緑色）は絶対に入れ替えないこと。

6.3.組立後の確認

組立後の確認を行ってください。チェックリストの内容が全てOKとなるようにしてください。

項　　目	確認チェック事項	チェック	対　　応
1.据　付	●本体は傾いていないか ●ドアにスキ間がないか		●P17、23を参照する ●P23を参照する
2.組　立	●本体の回りにスペースはあるか ●直射日光はあたらないか ●換気はよいか（３５℃以下） ●パネルの合わせ目にすき間はないか ●排水ホースはしっかり接続されているか ●エルボ付排水パイプの浮き上がりはないか（Yタイプ）		●6.2.1.設置スペースの項目を参照する ●日光が当たっていれば、日除けをする ●窓を開けてください ●P19、20を参照する ●P22を参照する ●P22を参照する
3.ネジ部分の締付け	●ボルト、金具は締付けたか ●仮止め箇所はないか		●締め付ける （コーチスクリュは締めすぎると空回りをするので注意してください）
4.ラベル	●警告・注意などの警告表示ラベルの汚損はないか		●取り替えてください
5.漏電ブレーカ	●付いているか		●付いていない場合は顧客先依頼事項とする
6.電源コード	●延長コードを使う場合は太さ2mm²以上あるか、長さ10m未満か		●太さ2mm²未満は取替えをし10m以上は電気工事店へ依頼する
7.電源を入れる	●温度表示が出るか確認する ●冷蔵運転開始・庫内に冷却空気が出ていることを確認する（設定温度は外気温度以下）		●P24を参照する ●運転操作はP8、9を参照する

7 困ったときには

この章では、機械の様子を調べていただくこと、処置していただくこと、および参照していただくページについて説明しています。

万一不調が起きたときは、まず次のことをお調べください。容易に処置できることがあります。
それでもなお調子が悪いときは、購入先、又は、弊社にご連絡ください。

不調の様子	調べていただくこと	処置していただくこと	参　照
チェックコードC1が表示される(点滅)	1.ドアが少し開いていませんか。 2.冷蔵ユニットの前後に物が置かれていませんか。 3.凝縮器のフィンもしくは吸込口にホコリがついていませんか。 4.凝縮器のファンは動いていますか。（圧縮機と同時運転）	1.ドアを確実に閉める。 2.物を取り除く。 3.ホコリがあれば掃除をする。 4.購入先にご連絡ください。	 P.11 P.12
エラーコードE3～E9が表示される(点滅)	1.部品の故障です。	1.購入先にご連絡ください。	P.9
庫内がまったく冷えない	1.電源が入っていますか。	1.電源プラグを確認する。	P.7
冷蔵ユニットがすぐ止まる。(冷えない)	1.風向板の取り付けは正しいですか（冷気の吹き出し口と戻り口がありますか）。	1.風向板の取り付けを確認する。	P.7 P.21
設定温度まで冷えない	1.直射日光が当たっていませんか。 2.風通しが悪く周囲の温度が高くなっていませんか。 3.ドアを頻繁に開けていませんか。 4.凝縮器のフィンもしくは吸込み口にホコリがついていませんか。 5.上面に物が置かれて凝縮器の冷却空気が流れにくくなっていませんか。 6.庫内に物を詰めすぎていませんか。 7.設定温度は希望の温度に設定してありますか。 8.ドアにすき間がありませんか。	1.直射日光を防ぐ。 2.風通しを良くするように工夫する。 3.ドアの開閉回数を減らす。 4.ホコリの確認をし、ホコリがあれば掃除をする。 5.物を取り除く。 6.庫内の物を少なくする。 7.設定温度が違っていれば再設定する。庫内温度は設定温度に対して上下2℃の範囲で制御します。 8.ドアのすき間をなくす。	P.6 P.6 P.12 P.12 P.10 P.8 P.9 P.23
庫内温度が点滅する	1.ドアが開いていませんか。 2.ドアを頻繁に開けていませんか。 3.熱いものを入れていませんか。	1.ドアを閉める。 2.ドアの開閉回数を減らす。 3.熱いものは、冷めてから入れる。	P.6 P.6
設定温度以下を表示する	1.外気温度が設定温度以下になっていませんか 2.庫内に物を詰めすぎていませんか。 3.庫内の冷気循環路は確保されていますか。 4.運転開始直後ですか。 5.設定温度は希望の温度に設定してありますか。	1.加温機能はありませんのでそのままご使用ください。 2.庫内の物を少なくする。 3.冷気循環路を確保する。 4.運転開始直後は、庫内温度が不安定のため設定温度以下を表示することがあります。庫内温度が安定するまでに数日間かかります。 5.設定温度が違っていれば再設定する。	P.6 P.10 P.6 P.7 P.6 P.8、9

不調の様子	調べていただくこと	処置していただくこと	参　照
庫内に水滴が落ちてくる	1.エルボ付排水パイプは浮き上がっていませんか。	1.パイプサドルでしっかりと固定し、浮き上がりをなくす。	P.13
	2.エルボ付排水パイプ・ホースはしっかり差し込まれていますか。	2.エルボ付排水パイプ・ホースを接続口にしっかり差し込む。	P.13
	3.本体が前後左右に傾いていませんか。	3.本体を水平にする。	P.6
	4.排水ホースの先端が上に曲っていませんか。	4.排水ホースの曲がりをなくす。	P.10
	5.排水ホースの先が丸まっていませんか。	5.排水ホースの丸まりをなくすか、余っている排水ホースを切断する。	P.10
	6.排水ホースのS字部分が大きすぎませんか。	6.S字部分の高さを200mm以下にする。	P.10
庫内に露がつく	1.ADJプラグとADJ断熱シートはしっかり入っていますか。	1.ADJプラグとADJ断熱シートをしっかりと入れる。	P.24
	2.ドアが開いていませんか。	2.ドアをしっかりと閉める。	P.11
本体の外に露がつく	1.周囲の温度や湿度が高くありませんか。	1.菜庫の設置してある室内の温度が35℃以上の場合や湿度が高い時は換気をよくするよう工夫する。	P.11
	2.ドアの合わせ部に露がついていませんか。	2.ドアの合わせ部には露がつくことがあります。水の量が多い場合は受け皿（お客様でご用意願います）で受けてください。	P.11
	3.ADJプラグはしっかり入っていますか。	3.ADJプラグをしっかりと入れる。	P.24
	4.ADJ断熱シートは入れてありますか。	4.ADJ断熱シートを入れる。	P.24
ドアが傾いている	1.床面が柔らかくありませんか。	1.床の固い設置場所に変更してください。	P.6、14
	2.床面が凸凹で本体がひずんでいませんか。	2.アジャストボルトで調整してください。	
異常音がする	1.保冷庫を設置した床は、しっかりしていますか。	1-1.床面が柔らかい状態であれば、設置場所を変更する。 1-2.床が凹まない様に補強する。	P.6、14
	2.冷蔵ユニットは確実に固定されていますか。	2.　ネジのゆるみを点検し、増締めをする。	
蒸発器に霜が付く	1.水気が多く温度が高い物を大量に入れていませんか。	1-1.水気が多く温度が高い物を入れない。 1-2.電源プラグを抜き、霜がとけてから電源プラグを入れ直す。	P.9

8 連絡先

機械に異常が発生し、原因が不明で適切な処置ができない場合は、購入先または下記の連絡先へ連絡してください。

ご購入先	
住　　所	
T　E　L	

保　証　書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お買い上げいただきました製品につきまして、下記のとおり保証をいたします。

記

1.保証期間　納入日から起算して**1ヶ年**です。

2.保証内容　保証期間中に、本機を構成する部品、材料等に、設計製作上の欠陥があらわれた場合、弊社製品取扱先及びその指定サービス工場で当該部品の取替え、又は、修理を無料でいたします。なお、製品以外の責につきましては保証いたしかねます。

3.適用除外　保証期間内でも、下記の場合には保証いたしません。

（1）使用上、並びに取扱い上の不注意、過失、点検不備によって、故障が生じた場合。
（2）弊社が規定する仕様の限界を越えて使用した場合。
（3）弊社が認めない改造変更が原因となって故障した場合。
（4）弊社純正部品以外の部品使用が原因で故障した場合。
（5）弊社製品の取扱先又は、その指定サービス工場以外で修理され故障した場合。
（6）故障判定資料の不充分なもの、及び損傷部品を紛失された場合。
（7）消耗部品。
（8）保証書の提示がない場合は有償となることがあります。
（9）保証書を紛失した場合は再発行いたしません。

4.部品の供給年限

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、**製造打ち切り後6年**といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は、原則的に上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。
※本保証書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid in Japan）

静岡製機株式会社
静岡県袋井市山名町4-1

1.お買い上げ製品	（機種名）　GB
2.製　造　番　号	
3.年　　月　　日	年　　月　　日
4.組 付 者 氏 名	ご購入先
	氏　　名

◎ 製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店もしくは最寄りの弊社営業所にお申し付けく

静岡製機株式会社

北海道営業所	〒007-0804 札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号	☎ 札幌 (011) 781-2234	FAX.(011) 780-2273
東北営業所	〒989-6136 宮城県大崎市古川穂波3丁目1番14号	☎ 古川 (0229) 23-7210	FAX.(0229) 21-1330
新潟営業所	〒950-0923 新潟県新潟市中央区姥ケ山1丁目5番30号	☎ 新潟 (025) 287-1110	FAX.(025) 257-1197
関東営業所	〒302-0017 茨城県取手市桑原1424-1	☎ 取手 (0297) 73-3530	FAX.(0297) 70-1137
中部営業所	〒437-8601 静岡県袋井市山名町4-1	☎ 袋井 (0538) 43-2251	FAX.(0538) 45-0310
北陸営業所	〒920-0365 石川県金沢市神野町東52	☎ 金沢 (076) 249-6177	FAX.(076) 240-9333
関西営業所	〒661-0032 兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10-8	☎ 大阪 (06) 6432-7890	FAX.(06) 6434-2184
中四国営業所	〒700-0975 岡山県岡山市今2丁目8-12	☎ 岡山 (086) 244-4123	FAX.(086) 244-9300
九州営業所	〒839-0862 福岡県久留米市野中町1438-1	☎ 久留米 (0942) 32-4495	FAX.(0942) 31-7373
営業本部	〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300	☎ 袋井 (0538) 23-2822	FAX.(0538) 23-2890

◎ ご購入された製品や弊社のサービス全般についてのご提案、ご意見、ご要望は下記までご連絡ください。

『静岡製機株式会社　お客様提案窓口』
フリーダイヤル　0120ー702ー118
（携帯電話、PHSは不可）
一 般 電 話　0538ー23ー3305
F A X　0538ー23ー2890
ホームページアドレス
http://www.shizuoka-seiki.co.jp/

11779-204001